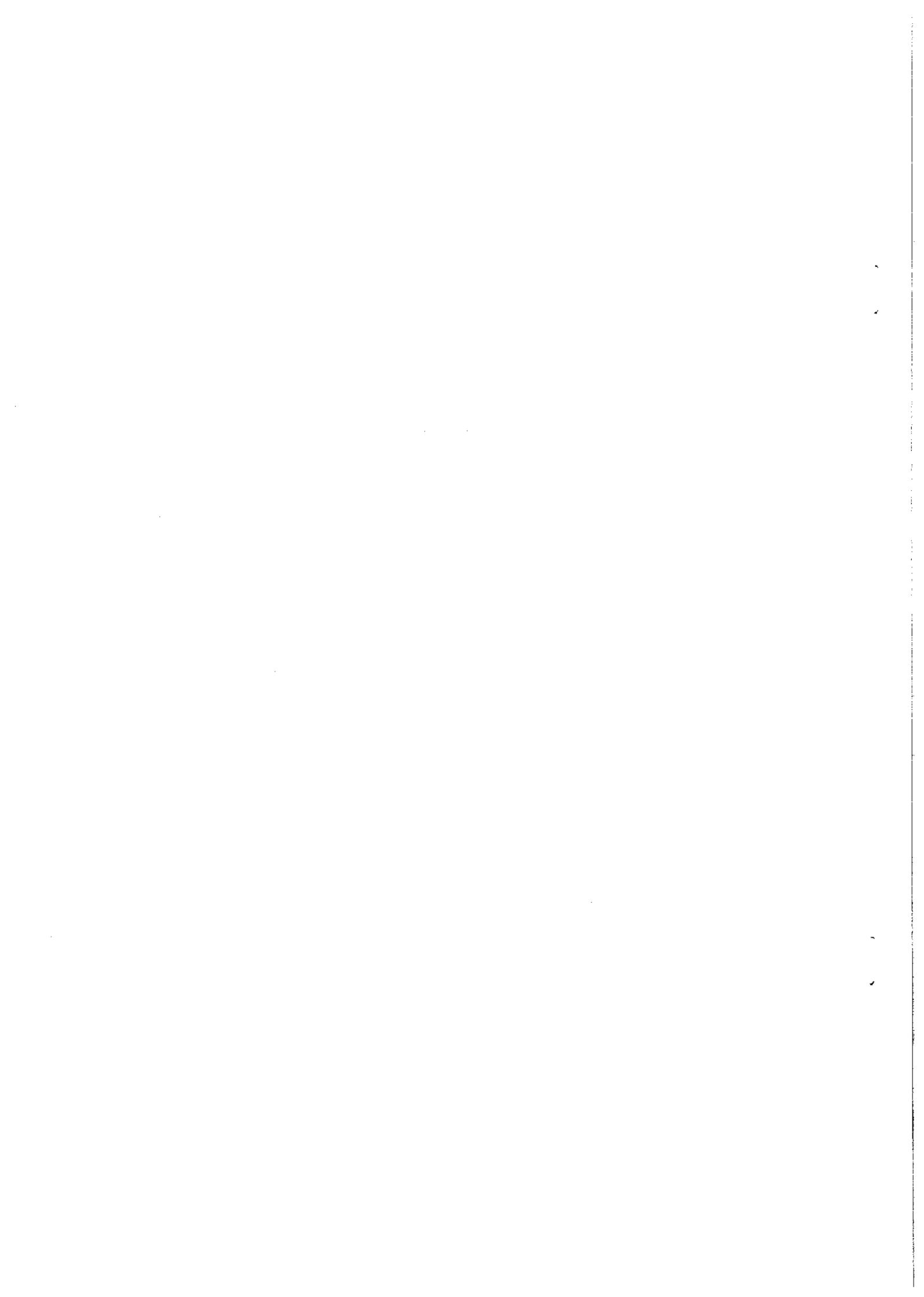


令和元年度
教育委員会の活動状況に関する
点検・評価報告書

令和2年9月

蘭越町教育委員会



は　じ　め　に

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見も活用しながら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

蘭越町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様に対する説明責任を果たすため、平成20年度から毎年度、点検・評価を行い、報告書を作成し、公表してまいりました。

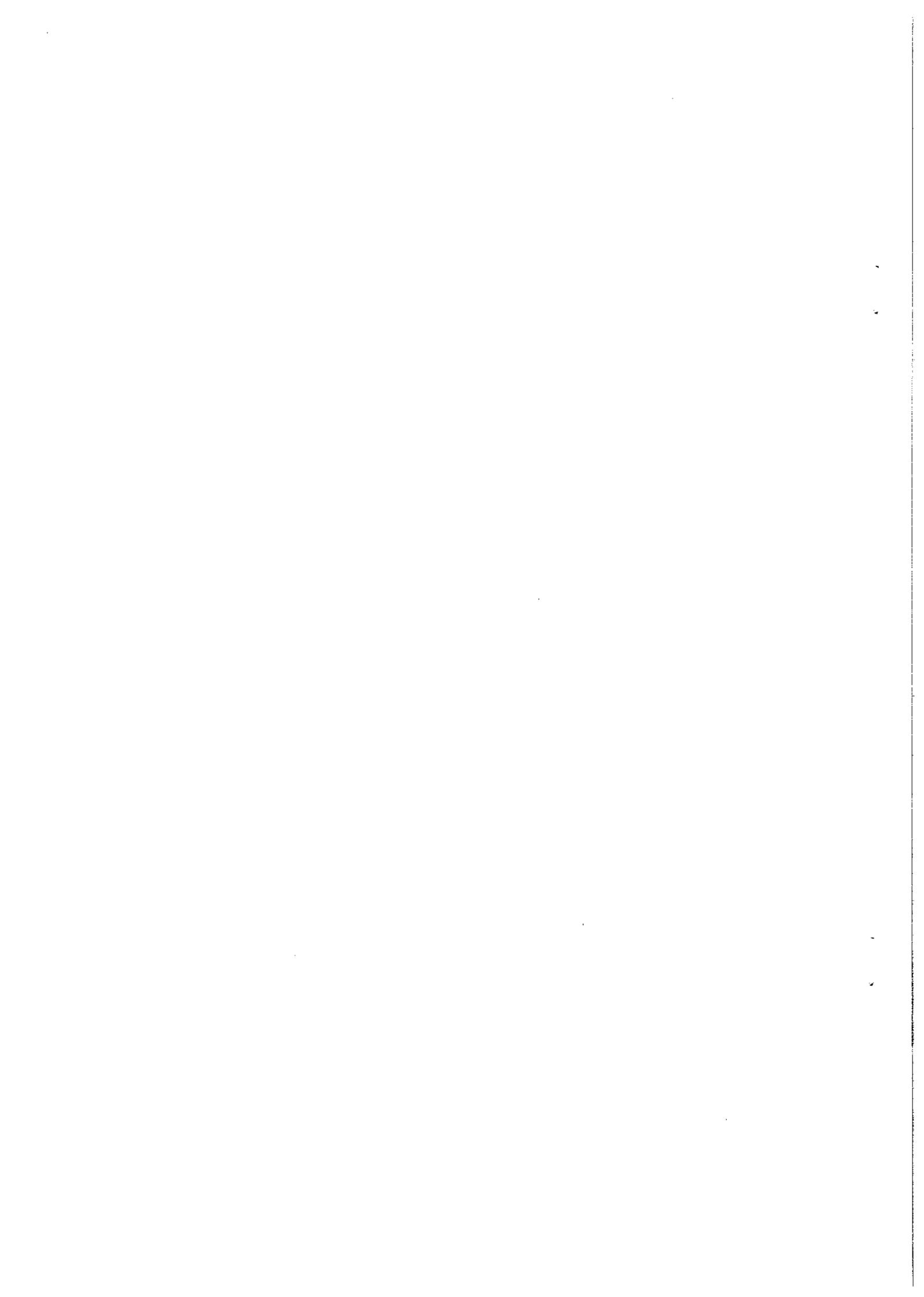
今年度におきましても、令和元年度に教育委員会が行った活動の状況や「蘭越町教育推進計画（改定版）」（平成28年度から令和元年度）に掲げた施策の実施状況について点検・評価を行い、成果や課題と今後の方向性を明らかにした報告書を作成いたしました。

人口減少の加速化、グローバル化の進展、情報通信技術の発達など、社会が急速に変化し、予測が困難な時代の中、本町が持続的に発展していくためには、将来を担う心身共に健やかな人材の育成が不可欠であります。教育委員会としましては、子どもたちが高い志や意欲を持つ自立した人間として未来を切り開いていく力を身につけることができるような教育施策の実施、その効果の不断の検証と改善に努めながら、引き続き、本町の教育行政の着実な推進に努めてまいりますので、今後とも、町民の皆様の一層の御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、この点検・評価の実施に当たっては、有識者で構成する「蘭越町教育委員会点検評価外部評価委員会」を開催し、多岐にわたって貴重なご意見をいただきました。同委員会で熱心にご議論いただきました委員各位に厚くお礼を申し上げます。

令和2年9月

蘭越町教育委員会



目 次

第1章	教育委員会の活動状況	
1	教育委員会委員名簿	1
2	教育委員会の会議の開催状況	1
3	条例・規則等並びに各種計画等の制定及び改正	4
(1)	条例・規則・要綱等の制定、改正及び廃止	4
(2)	主な計画の策定	4
4	教育委員会委員の活動状況	5
5	各種委員会等の活動状況	6
6	令和元年度予算の状況	8
7	行政改革（組織機構）の取組について	9
(1)	組織体制の見直し	9
(2)	事務事業等の見直し	9
8	教育関係者の表彰等	10
(1)	蘭越町文化功労者表彰	10
(2)	蘭越町スポーツ表彰	10
(3)	関係団体表彰	10
第2章	令和元年度教育推進計画（改定版）に基づく評価（内部評価）	
1	確かな学力の向上	13
2	ふるさと教育の充実	15
3	情報教育の充実	17
4	環境教育の推進	19
5	国際理解教育の充実	21
6	特別支援教育の充実	22
7	道徳教育の充実	23
8	読書活動の推進	25
9	生徒指導の充実	27
10	体力・運動能力の向上	29
11	食育の推進	31
12	開かれた学校づくりの推進	33
13	学校間の連携・接続の推進	34
14	家庭の教育力の向上	35
15	子育て支援の充実	36
16	多種多様な学習機会の充実	37
17	生涯学習推進体制の充実	38
18	生涯各期の社会教育活動の推進	39
19	芸術文化活動の推進	40
20	文化財の保存と活用	41
21	みんなが集う花一会図書館	42
22	外に飛び出す図書館活動	44
23	生涯にわたるスポーツ活動の推進	45
24	児童生徒のスポーツ活動の充実	46
25	スポーツ環境の充実	47
第3章	外部評価	
1	外部評価委員による評価・意見	51

資 料

1	教育委員会行政組織機構図	55
2	学校の児童生徒・教職員数	56
3	施設利用者数	57
	(1) 町民センター利用者	57
	(2) 町民プール利用者	57
	(3) 体育施設利用者	57
	(4) 目名サッカー場利用者	57
	(5) トレーニング室利用者	57
	(6) 花一会図書館利用者	57
4	学校評価の概要	59
	・昆布小学校	59
	・蘭越小学校	60
	・蘭越中学校	61

第1章 教育委員会の活動状況

第1章のポイント

教育委員会委員名簿、会議の開催状況、条例・規則等の制定及び改正、委員・各種委員会の活動状況、教育関係者の表彰など、令和元年度に教育委員会が行った活動状況について整理しています。



1. 教育委員会委員名簿

職名	氏名	任期
委員	鍋田 罔雄	平成20年10月23日～令和2年10月22日
委員	西澤 雅明	平成16年10月23日～令和2年10月22日
委員	及川 かをり	平成23年12月21日～令和5年12月20日
委員(新任)	西元 裕子	令和元年12月21日～令和5年12月20日
委員(退任)	池田 志津子	平成23年12月21日～令和元年12月20日
教育長	首藤 一幸	平成25年12月20日～令和2年12月19日

2 教育委員会の会議の開催状況

蘭越町教育委員会の会議は、毎月1回開催しており、緊急の案件がある場合には臨時の会議を開催しています。

この会議において、教育長と4名の教育委員が教育行政の基本方針の決定、教育に関する条例及び規則等の制定や改正など、様々な議題について審議しています。

期日	付議案件等
第4回 31. 4. 3	(審議) ・蘭越町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部を改正する訓令(案)について ・蘭越町特別支援連携協議会委員の委嘱について
第5回 31. 4. 25	(報告) ・小中学校の体罰に係る実態把握、対応状況について (審議) ・蘭越町教育委員会事務局職員の任免について ・平成31年度一般会計教育費補正予算(案)について ・蘭越町立学校に係る部活動の方針(案)について ・蘭越町花一会図書館運営協議会委員の任命について ・蘭越町特別支援連携協議会委員の委嘱について ・蘭越町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ・蘭越町奨学資金奨学生の採用について
第6回 元. 6. 5	(報告) ・令和元年度後志公立文教施設整備促進期成会及び後志町村教育委員会協議会定期総会について ・第4地区教科書採択教育委員会協議会委員の選出について ・令和元年度蘭越町立小学校施設の開放について (承認) ・令和元年度要保護・準要保護児童生徒の認定について (審議) ・蘭越町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示(案)について ・令和元年度一般会計教育費補正予算(案)について

	<p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度「第1回教育委員学校訪問」について
<p>第7回 元. 6. 20</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度一般会計教育費補正予算について ・動産の取得について <p>(承認)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度要保護・準要保護児童生徒の認定について <p>(審議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蘭越町教育推進計画策定委員会委員の委嘱について <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第1回教育委員学校訪問結果について
<p>第8回 元. 8. 7</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年第2回蘭越町議会定例会一般質問について ・平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について ・平成30年度蘭越町学校給食会計決算について <p>(審議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度使用小学校用教科書の採択について ・令和2年度使用中学校用教科書の採択について ・令和2年度使用小・中学校用特別支援学級教科用図書（一般図書）の採択について ・蘭越町外国語教育連携推進会議委員の委嘱について <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度全国学力・学習状況調査の結果公表について ・教育委員視察研修について ・令和元年度第1回教育委員学校訪問結果について
<p>第9回 元. 9. 10</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校職員の交通事故等に係る指導等について ・令和元年度一般会計教育費補正予算について ・小中学校のいじめ問題の対応について ・蘭越町体育施設条例の一部を改正する条例について ・蘭越町総合運動公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について ・蘭越町目名サッカー場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について ・蘭越町民センターらぶちゃんホールの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について <p>(審議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度一般会計教育費補正予算（案）について ・蘭越町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱を廃止する告示 <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蘭越町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書（案）について ・教育委員視察研修について
<p>第10回 元. 10. 17</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年第3回蘭越町議会定例会一般質問について ・令和元年度学校給食会計第1学期末執行状況について <p>(審議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度一般会計教育費補正予算（案）について <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第2回教育委員学校訪問について

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度教育委員視察研修について
第11回 元. 12. 4	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校職員の交通事故等に係る指導等について ・平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査結果について <p>(審議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度一般会計教育費補正予算(案)について <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「令和元年度(2019年度)全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果公表」について ・令和2年度「教育行政執行方針」骨子について ・令和2年度一般会計教育費予算(案)について
第12回 元. 12. 17	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第4回蘭越町議会定例会一般質問について <p>(審議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度一般会計教育費補正予算(案)について <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蘭越町奨学資金の選考基準について ・令和元年度第1回蘭越町総合教育会議について
第1回 2. 1. 21	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蘭越町教育推進計画策定に関する答申について <p>(審議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蘭越町立学校管理規則の一部を改正する規則(案)について ・地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則(案)について ・蘭越町教育委員会事務専決規程の一部を改正する訓令(案)について ・令和2年度全国学力・学習状況調査実施方針(案)について ・蘭越町教育推進計画の策定について ・学校における働き方改革蘭越町アクションプランの改訂について
第2回 2. 2. 19	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度学校給食会計第2学期末執行状況について <p>(承認)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度要保護・準要保護児童生徒の認定について <p>(審議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給付型奨学金の実施に伴う関係条例の整備に関する条例(案)について ・蘭越町附属機関設置条例(案)について ・蘭越町文化財保護条例の一部を改正する条例(案)について ・蘭越町学校給食センター設置条例の一部を改正する条例(案)について ・蘭越町立学校管理規則の一部を改正する規則(案)について ・学校職員の人事の内申について ・令和元年度一般会計教育費補正予算(案)について ・令和2年度教育行政執行方針(案)について ・令和2年度一般会計教育費予算(案)について ・令和2年度歳入歳出予算のうち教育関係予算に係る教育委員会の意見について ・令和2年度奨学資金特別会計予算(案)について ・令和2年度学校給食会計予算(案)について ・第3次子どもの読書活動推進計画(案)について

第3回 2. 3. 27	(報告) ・学校職員の人事の内申について ・令和2年第1回蘭越町議会定例会一般質問について (審議) ・蘭越町教育委員会事務局職員の任免について ・蘭越町附属機関設置条例の施行に伴う教育委員会関係規則(案)について ・蘭越町奨学資金基金の設置及び管理運用に関する条例施行規則(案)について ・蘭越町附属機関設置条例の施行に伴う教育委員会関係要綱の整備に関する告示(案)について ・蘭越町部活動指導員活用計画策定検討会設置要綱(案)について ・第6次蘭越町生涯学習推進計画らんらんプラン21(案)について ・蘭越町立昆布小学校学校評議員、蘭越町立蘭越小学校学校評議員及び蘭越町立蘭越中学校学校評議員の委嘱について ・蘭越町子ども教室運営委員会委員の委嘱について ・蘭越町花一会図書館運営協議会委員(補欠)の任命について ・蘭越町生涯学習推進委員会委員の選任に係る意見について
-----------------	---

3 条例・規則等並びに各種計画等の制定及び改正

令和元年度の教育関係の条例は、令和元年10月1日からの消費税率の引き上げに伴い、蘭越町体育施設条例、蘭越町目名サッカー場の設置及び管理に関する条例、蘭越町総合運動公園の設置及び管理に関する条例、及び蘭越町民センターらぶちゃんホールの設置及び管理に関する条例の一部を改正しました。また、給付型奨学金の導入により給付型奨学金の実施に伴う関係条例の整備に関する条例、地方公務員法及び地方自治法の一部改正による特別職非常勤職員の厳格化に伴う蘭越町附属機関設置条例(蘭越町文化財保護条例及び蘭越町学校給食センター設置条例を附則で改正)を制定しています。

規則等におきましては、蘭越町附属機関設置条例の施行に伴う教育委員会関係の規則の制定や要綱の一部改正、廃止を行いました。また、給付型奨学金の導入に伴い蘭越町奨学資金基金の設置及び管理運用に関する条例施行規則を改正しています。

各種計画は、第6次蘭越町総合計画策定に伴う蘭越町教育推進計画、第6次蘭越町生涯学習計画らんらんプラン21、第3次子どもの読書活動推進計画の策定を行いました。

(1) 条例・規則・要綱等の制定、改正及び廃止

公布(施行) 年月日	題 名
31. 4. 4	・蘭越町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部を改正する訓令
元. 6. 6	・蘭越町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正
元. 10. 1	・蘭越町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の廃止
2. 1. 22	・地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則
〃	・蘭越町立学校管理規則の一部改正
〃	・蘭越町教育委員会事務専決規程の一部を改正する訓令
2. 2. 20	・蘭越町立学校管理規則の一部改正
2. 3. 30	・蘭越町教育委員会点検評価外部評価委員会設置規則

〃	・蘭越町特別支援連携協議会設置規則
〃	・蘭越町教育推進計画策定委員会設置規則
〃	・蘭越高等学校の今後のあり方についての検討会設置規則
〃	・蘭越町学校運営協議会設立準備委員会設置規則
〃	・蘭越町放課後子ども教室運営委員会設置規則
〃	・蘭越町生涯学習推進委員会設置規則
〃	・蘭越町文化財保護調査委員会設置規則
〃	・蘭越町スポーツ推進委員設置規則
〃	・蘭越町奨学資金基金の設置及び管理運用に関する条例施行規則
〃	・蘭越町附属機関設置条例の施行に伴う教育委員会関係要綱の整備に関する要綱
〃	・蘭越町部活動指導員活用計画策定検討委員会設置要綱

(2) 主な計画の策定

策定年月日	題 名
2. 1. 21	・蘭越町教育推進計画
2. 2. 19	・第3次子どもの読書活動推進計画
2. 3. 27	・第6次蘭越町生涯学習推進計画らんらんプラン21

4 教育委員会委員の活動状況

教育委員会委員は、月1回の定例会や各小中学校の行事、各種表彰式へ出席するほか、各種研修会に出席するなどの活動をしています。

主な活動状況

※教育長を除く

日 時	活 動 内 容	委 員 名
4月 3日	転入教職員辞令交付式	全 員
4月 5日	蘭越小学校入学式	及川
〃	昆布小学校入学式	鍋田・西澤
〃	蘭越中学校入学式	全 員
4月 8日	蘭越高等学校入学式	鍋田
5月22日	後志町村教育委員会協議会総会	鍋田
5月25日	蘭越中学校校内体育大会	各 委 員
6月 6日	蘭越高校を地域とともに考える会総会	鍋田・池田・及川
6月 8日	蘭越小学校運動会	各 委 員
6月 9日	昆布小学校運動会	各 委 員
6月20日	第1回教育委員学校訪問(蘭越小・昆布小・蘭越中・蘭越高)	鍋田・池田・及川
7月11日	第56回北海道市町村教育委員研修会(札幌市)	全 員
8月15日	蘭越町成人式	全 員
9月28日	蘭越中学校学校祭	各 委 員

10月13日	蘭越小学校学芸会	各委員
10月27日	昆布小学校学芸会	各委員
10月31日	後志管内町村教育委員研修会（ニセコ町）	鍋田・池田・及川
〃	教育懇談会	鍋田・池田・及川
11月6日	教育委員視察研修（三笠市）	全員
11月11日	第2回教育委員学校訪問（蘭越小・昆布小・蘭越中）	全員
1月21日	蘭越町総合教育会議	全員
3月1日	蘭越高等学校卒業式	(新型コロナウイルス感染症防止のため欠)
3月13日	蘭越中学校卒業式	〃
3月19日	昆布小学校卒業式	〃
3月20日	蘭越小学校卒業式	〃

5 各種委員会等の活動状況

蘭越町教育委員会に設置している主な審議機関、委員会等は次のとおりです。第5次蘭越町総合計画後期基本計画（平成27年度～平成31年度）、平成28年度以降の教育計画である「蘭越町教育推進計画（改定版）」と整合性を図りながら、生涯学習活動、子どもの読書活動等の推進に努めました。

名称	委員数	会議開催数	主な協議事項	会議開催年月日
蘭越町生涯学習推進委員会	25	2	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度生涯学習の推進について並びに専門部会の具体的な活動について 令和元年度の生涯学習活動並びに専門部会の具体的な活動について 	平成31.4.24 令和2.3月 (書面会議)
蘭越町文化功労者表彰選考委員会	7	1	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度蘭越町文化功労者表彰の選考について 	令和元.10.7
蘭越町子ども教室運営委員会	8	2	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度放課後子ども教室の運営の体制並びに蘭越町学校支援地域本部事業について 令和元年度放課後子ども教室実施状況について 	令和元.5.15 令和2.3月 (書面会議)
蘭越町花一会図書館運営協議会	10	3	<ul style="list-style-type: none"> 図書館運営協議会について 図書館運営協議会の会長・副会長の選出 図書館運営状況（平成30年度）の報告 今後の図書館事業について 図書館運営状況（令和元年度上半期～11月末まで）について 	令和元.5.9 令和元.12.13

			<ul style="list-style-type: none"> ・蘭越町子どもの読書推進計画（第3次計画）素案について ・蘭越町子どもの読書推進計画（第3次計画）素案へのパブリックコメントについて ・蘭越町子どもの読書推進計画（第3次計画）案について 	令和 2. 1. 22
蘭越町スポーツ推進委員会議	1 1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員活動計画について ・第1回体力・運動能力測定会 ・ニュースポーツ大会打合せ及び第2回体力・運動能力測定会等打合せ ・第2回体力・運動能力測定会及び第20回ニュースポーツ大会 ・令和元年度の総括について 	平成 31. 4. 9 令和元. 6. 1 令和元. 10. 7 令和元. 10. 26 令和 2. 3. 23 （書面会議）
蘭越町スポーツ表彰選考委員会	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度蘭越町スポーツ功労賞及びスポーツ栄誉賞の選考について 	令和元. 9. 12
蘭越町学校給食センター運営委員会	8	4	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度給食会計収支予算及び平成30年度給食会計決算（見込）について ・平成30年度給食会計決算について ・令和元年度給食会計1学期未執行状況について ・令和元年度給食会計2学期未執行状況 ・令和2年度給食会計収支予算について 	令和元. 5. 14 令和元. 7. 22 令和元. 10. 16 令和 2. 2. 12
蘭越町特別支援連携協議会	2 3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援チームの設置について ・就学支援シートの作成・配布について 	令和元. 7. 1
蘭越町外国語教育連携推進会議	2 1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・蘭越町外国語教育連携推進会議について ・蘭越町外国語教育連携推進会議の業務について ・ワーキングチームの設置について 	令和元. 8. 16

6 令和元年度予算の状況

令和元年度一般会計教育費の最終予算は515,015千円で、町費一般会計の7.3%を占めています。蘭越小学校煙道改修（繰越事業）及びスクールバスを購入したことなどにより、教育費全体としては、対前年比30,244千円の増となりました。蘭越中学校のパソコン等の更新を行ったほか、各施設老朽化等に伴う修繕を行うとともに、学校運営、社会教育やスポーツ活動等限られた財源の中で効率的な各種事業の実施に努めました。

教育費最終予算の内容（項、目別予算）

(千円)

項 及 び 目	予 算 額
1 教育総務費	178,546
(1) 教育委員会費	1,507
(2) 事務局費	91,098
(3) スクールバス費	85,941
2 小学校費	86,460
(1) 学校管理費	82,987
(2) 教育振興費	3,473
3 中学校費	45,664
(1) 学校管理費	43,770
(2) 教育振興費	1,894
4 社会教育費	82,767
(1) 社会教育総務費	50,461
(2) 町民センターらぶちゃんホール費	12,967
(3) コミュニティプラザ花一会費	16,598
(4) 放課後子ども教室費	2,741
5 保健体育費	121,578
(1) 保健体育総務費	30,295
(2) 体育施設費	39,387
(3) 学校給食センター費	51,896
合 計	515,015

7 行政改革(組織機構)の取組について

近年、国・地方を通じる財政の危機的状況は益々その深刻さの度合いを深め、地方自治体の財政状況は、年々その厳しさを増してきており、この難局を乗り越えるためには財政構造そのものを変革する必要があります。

そのため、財政と不可分の関係にある行政の仕組みと連動させて推進する必要があり、現行の制度や施策を見直し、行財政の構造をその根源から変革するため、教育委員会においても第5次蘭越町行政改革実施計画に基づき組織体制や事務事業の見直しを進めました。

また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会の事務の管理・執行状況について、毎年、点検・評価を実施することが義務付けられましたので、報告書を作成の上、議会への提出及び公表をしております。

(1) 組織体制の見直し

教育委員会においては、平成19年度の花一会図書館オープン等により、大幅な組織体制の見直しを行いました。令和元年度は、教職員の働き方改革に対応する部活動指導員や学校経営等への専門的な指導を目的とした学校教育アドバイザーを設置するとともに、昨年同様、職員を兼務発令し、業務の円滑な執行に努めました。

- ・ 学 務 課 主 幹 ～ 総務係長及び学校教育係長 兼務
- ・ 生涯学習課主幹 ～ 町民センター長及び業務係長 兼務
- ・ スポーツ課主幹 ～ 総合体育館長 兼務
- ・ 花 一 会 館 長 ～ 業務係長 兼務
- ・ 学校給食センター長 ～ 業務係長 兼務
- ・ スポーツ課スポーツ振興係長 ～ スポーツ施設係長及び総合体育館業務係長 兼務
- ・ 町民センター業務係 ～ 花一会業務係 兼務

(2) 事務事業等の見直し

元年度は、学校給食センター業務の外部委託について管内他町の視察を行い検討を進めましたが、メリットやデメリットを整理検討した結果、従来通りの直営方式を続けることとなりました。

また、次年度に向け会計年度任用職員の導入に向けた準備と特別職非常勤職員の厳格化により各種委員会の整理を行い、給付型奨学資金を導入しました。

今後は、委託料及び一部施設使用料の見直しについても検討していきます。

- ・ 各種委員会等 ～ 次年度に向け特別職非常勤職員の厳格化による整理と会計年度任用職員の導入準備を行いました。
- ・ 委 託 事 業 ～ スクールバス運転管理業務委託や随時運行委託料は、必要に応じて見直し検討します。
- ・ 補 助 金 ～ 見直し終了。
- ・ そ の 他 ～ 各種使用料の一部について見直しを引き続き検討します。

8 教育関係者の表彰等

令和元年度の主な教育関係の表彰等は次のとおりです。

その中で、蘭越町文化功労者表彰の受賞者は2名、蘭越町スポーツ表彰の受賞者は2名です。

(1) 蘭越町文化功労者表彰

- 谷内江 ゆり子 (生涯学習活動の実践と普及)
- 伊 藤 初 代 (伝統工芸「竹細工」の継承と実践)

(2) 蘭越町スポーツ表彰

- スポーツ功労賞
- 気 田 義 三 (スキー競技の普及や町のスポーツ振興に大きく貢献)
- 成 澤 昇 (スキー競技の普及や町のスポーツ振興に大きく貢献)

(3) 関係団体表彰

・ 蘭越町文化団体協議会表彰

ア 文化賞

- 高 橋 智恵子 (日本舞踊：純樹・富美樹会)

イ 文化奨励賞

- 前 島 美佐子 (絵手紙サークル)
- 河 野 美津子 (根曲り竹細工研究会)

・ 蘭越町スポーツ協会スポーツ表彰

ア スポーツ功労賞

- 熊 谷 信 宏 (蘭越町ソフトボール協会)
- 山 下 志 伸 (蘭越町軟式野球連盟)

イ スポーツ振興賞

- 相 馬 修 一 (蘭越町柔道連盟)

ウ スポーツ奨励賞

- 園 家 凌 太 (北海道高等学校卓球選手権大会) ※ダブルス
- 森 川 陽 友 (北海道小学生陸上競技大会) ※ジャベリックボール投
- 水 嶋 海 斗 (十勝カップ北海道中学生選抜大会) ※+90kgの部

第2章 令和元年度教育推進計画 (改訂版) に基づく評価 (内部評価)

第 2 章 の ポ イ ン ト

平成 28 年度から令和元年度までを計画期間とする蘭越町教育推進計画(改訂版)に基づき、令和元年度の教育委員会の活動の点検・評価を行ったものです。

具体的には、「教育推進計画」に示した 25 項目の施策について、目標指標の実施状況や、令和元年度事業の取組概要・成果や課題・今後の方向性を整理しています。



施策項目 1 確かな学力の向上

目 標

学校と家庭が連携を図りながら、子どもの学ぶ意欲を育むとともに、望ましい学習習慣を身に付けさせ、確かな学力を育む。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R元	目標 (R元)
児童・生徒の授業の理解	全国学力・学習状況調査において、「国語、算数・数学の授業の内容は分かる」と回答した町内児童・生徒の割合 (小学6年生、中学3年生) ※H30 国語の設問なし	小国 77.5% 小算 75.0% 中国 68.2% 中数 63.6%	小国 - % 小算 93.6% 中国 - % 中数 66.7%	小国 90.7% 小算 84.4% 中国 77.8% 中数 72.2%	小学生 80% 中学生 75% 以上をめざす
基礎・基本の定着の状況	全国学力・学習状況調査において、全国平均正答率を100とした場合の町内学校のすべての教科の平均正答率 ※R元 A・B問題なし	小国 A100 小国 B 98 小算 A100 小算 B 99 中国 A100 中国 B 98 中数 A 96 中数 B 96	小国 A 96 小国 B 93 小算 A 96 小算 B 93 中国 A104 中国 B113 中数 A107 中数 B100	小国 114 小算 101 中国 98 中数 99	すべての教科で100以上をめざす
家庭学習の取組状況	全国学力・学習状況調査において、「学校の授業時間以外に、普段 (月～金)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」という設問に対して、「1時間以上勉強している」と回答した町内児童・生徒の割合	小 40.0% 中 40.9%	小 38.8% 中 33.3%	小 50.0% 中 44.4%	「1時間以上勉強する」と回答する町内児童・生徒の70%以上をめざす
	全国学力・学習状況調査において「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」という設問に対して、「している」と回答する町内児童・生徒の割合	小 75.0% 中 36.3%	小 58.1% 中 53.8%	小 59.4% 中 47.2%	すべての児童・生徒が計画を立てて勉強していることをめざす
指導技術の向上	教職員の教科指導に係る専門的な研修への参加率	75%	84.2%	85.0%	一人一研修をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるとともに、これらの活用を図る学習活動の重視

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
放課後や長期休業期間を利用した補充的な学習、児童・生徒の主体的な学習を支援する体制の充実	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問週間、個人面談習慣の放課後を活用して、放課後学習を行った。また、長期休業中に学生ボランティアに協力してもらい夏休み学習プランを行った。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中に学習会の実施。約20名の児童が参加し、補充的な学習に取り組んだ。また、放課後子ども教室と連携し、児童の実態に合わせた補充的な指導を定期的に行った。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テスト前の学習会と長期休業中 (夏季・冬 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も同様の取組を進めるとともに、放課後だけではなく朝学習の時間を有効に活用するための取組を進める。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模校の特性を生かし、個の実態に応じた補充的な学習を推進する。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テスト前学習会、長期休業中

	季)の学習会を計画どおり実施した。3年生の進路学習や支援員による補充学習など、体制の整備に努めた。	学習会の内容の改善と学習支援員による定期的な放課後学習の実施を図る。
--	---	------------------------------------

(2) 家庭学習習慣の定着を図り、主体的に学習に取り組む指導の改善

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
家庭における学習習慣の確立	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の手引や学習の約束を作成・配布して、家庭学習の習慣化に繋げていった。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の手引を見直し、各家庭に配布。参観日に保護者に説明し、家庭の理解と協力を求めた。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科の家庭学習ノートを毎日提出するよう指導して学習習慣の定着に努めたが、提出率の個人差が大きく現れた。 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も同様の取組を進めるとともに、生活リズムチェックシートの取組みと合わせて、保護者の協力も得ながら、「やりきらせる」を目標に定着を図っていく。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学級の取組の推進及び取組状況の交流を図る。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業と連動した課題を工夫して、家庭学習の必要性を実感させるよう学校全体で検討する。

(3) 管理職や先輩教員からの学びや同僚間の学び合いと校内研修の推進

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
外部での研修や外部講師を招く研修による教科研究の充実	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員に積極的に研修講座等の参加を促し、取り組むことができた。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初認段階研修の計画的な推進、また各種研修講座・研究会への参加を促した。 <p>【蘭越中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領のねらいを達成するための研究計画を立て、学校全体で授業改善に取り組んだ。 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も積極的に各種研修講座や研修会への参加を促す。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後志研修センター講座への積極的な参加と教職員への還元を図る。 <p>【蘭越中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外研修や外部講師の招聘等、先進的な研究や取組に積極的に触れることで授業改善を推進する。

施策項目 2 ふるさと教育の充実

目 標

北海道、そして自分の生まれ育った蘭越町を知り、理解を深め、郷土に対する愛着や誇りを持ち、国際社会においてよりよく生きようとする自覚を深めていく。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R元	目標 (R元)
ふるさとへの関心の状況	全国学力・学習状況調査において「今すんでいる地域の行事に参加している」と回答した町内児童・生徒の割合	小 80.0% 中 70.5%	小 83.9% 中 53.9%	小 90.6% 中 66.7%	すべての児童・生徒が「参加している」と回答することをめざす
アイヌの人たちの歴史・文化に関する教育や北方領土学習の実施現状	アイヌの人たちの歴史・文化において、資料等を活用した調べ学習を行っている授業の割合(小・中学校)	資料の活用については定着、調べ学習の取組は不十分	・資料や社会科副読本を活用した調べ学習を実施(小学校) ・資料の充実や調べ方を工夫して調べ学習の取組を行った(中学校)	・資料や社会科副読本を活用した調べ学習を実施(小学校) ・資料の充実や調べ方を工夫して調べ学習の取組を行った(中学校)	調べ学習の計画時数の完全実施をめざす
	北方領土に関する学習において、資料等を活用した調べ学習を行っている授業の割合(小・中学校)	資料の活用については定着、調べ学習の取組は不十分	・資料の活用、調べ学習ともに定着(小学校) ・資料を用いた調べ学習に取り組んだ(中学校)	・資料の活用、調べ学習ともに定着(小学校) ・資料を用いた学習に取り組んだが、調べ学習をするだけの時間を設けることができなかった(中学校)	調べ学習の計画時数の完全実施をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) ふるさとの自然や歴史、伝統、文化、産業等に関する教育の充実

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学校における地域の施設や人材、自然環境などの教育資源を活用した学習活動	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間の課題解決、社会科の時間において、地域の人材や自然を活用して活動を行った。 (1～4年生活・総合 さつまいも植え) (5年総合 蘭越の米作り～育苗センター見学・稲作体験) (3年社会科 気田ファーム) <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活や総合的な学習の時間において積極的な地域資源の活用を図った。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内及び近隣で職場体験学習(3年)を2日間実施し、地域の職業について理解を深めた。 花一会図書館と連携して、調べ方や学び方 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も地域の人材や自然環境を活用して学習を進めていく。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間の年間計画の改善による地域の教育資源の活用を図る。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職場体験学習については継続する。 花一会図書館をはじめ、地域

	など、調べ学習の基礎を身に付けることができた。	の人材や施設などの教育材の活用について積極的に検討する。 ・ 旅行的行事を通して、他の地域と比較しながらふるさとについて深く学ぶように検討する。
小学校中学年社会科の町内巡り体験の充実	<p>【蘭越小】 ・ 昆布小と連携し、3年の町内めぐり、4年の社会科見学を実施。</p> <p>【昆布小】 ・ 蘭越小と合同で実施。</p>	<p>【蘭越小】 ・ 今後も中学年社会科で、町内めぐりや社会科見学を実施していく。</p> <p>【昆布小】 ・ 社会科の年間計画に基づき、蘭越小と連携して継続的に進める。</p>

(2) アイヌの人たちの歴史・文化などに関する教育の充実

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
アイヌの人たちの歴史や文化などに関する学習活動、副読本の活用	<p>【蘭越小】 ・ 教科書、副読本を活用しての学習活動を行った（4年副読本、6年教科書）。</p> <p>【昆布小】 ・ 4年、6年の社会科において実施した。</p> <p>【中学校】 ・ 1年の総合的な学習の時間で取組み、アイヌの歴史や文化について考えさせることができた。</p>	<p>【蘭越小】 ・ 今後もさまざまな資料を活用してアイヌの人たちについて学習を深める。</p> <p>【昆布小】 ・ 積極的な活用のための研修を深め、実践の深化を図る。</p> <p>【中学校】 ・ 民族共生象徴空間ウポポイの利用を通して、学習の継続と指導方法の工夫・改善を図る。</p>

(3) 北方領土に関する教育の充実

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
北方領土に関する学習活動、資料を活用した調べ学習の取組	<p>【蘭越小】 ・ 3～6年の総合的な学習の時間の中に、各学年5時間時数を確保し、資料を活用しながら授業を行った。</p> <p>【昆布小】 ・ 社会科で北方領土について学習を行った。</p> <p>【中学校】 ・ 社会科の授業で、資料を活用して調べ学習を行い、主体的に学習に取り組ませることができた。</p>	<p>【蘭越小】 ・ 今後も同様の取組みを進めながら、授業内容についてもさらに深めていく。</p> <p>【昆布小】 ・ 効果的な資料の活用及び調べ学習の研修の充実を図る。</p> <p>【中学校】 ・ 学習内容や学習方法の改善を行いながら学習を継続する。</p>

施策項目 3 情報教育の充実

目 標

日常生活や経済社会のあらゆる活動において、情報を適切に取り扱うことができる情報活用能力の向上と情報モラルの徹底に努める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R元	目標 (R元)
コンピューターを活用した指導の状況	学校における教育情報化の実態等調査におけるコンピューターを活用して指導できる教員の割合	87.2%	100.0%	88.9%	100%をめざす
施設・設備の整備状況	タブレット型端末機の整備	小 18台 中 0台	小 28台 中 0台	小 28台 中 18台	各学校1クラス人数分の整備をめざす
情報モラルに関する指導の状況	学校における教育の情報化に関する調査において、情報モラルなどを指導する能力について、「わりにできる」「やってできる」と回答した教員の割合	85.3%	100.0%	92.6%	100%をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 視覚情報モラルの向上を図る指導内容の充実

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
情報モラル向上のための児童・生徒向け指導資料の作成・配布、情報教育に関する教員研修	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修の時間を活用して、ネットモラル教育について研修を深めた。その研修をもとに外部講師を招き、高学年児童及び保護者を対象にネットトラブル対応教室を実施し、学校全体で計画的にネットパトロールを実施した。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルに関わる資料を配布し、児童の指導と保護者への啓発を進めた。 <p>【蘭越中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提供される資料を活用し、学級指導や道徳の授業で扱った。年間を通じた指導により生徒の意識も高まった。 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も研修を深め、児童のネットモラルなどについて家庭と連携しながら発達段階に応じた適切な指導を行っていく。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態把握（児童・保護者アンケート）と適切な指導のあり方について研修を進める。 <p>【蘭越中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の効果的な活用について生徒指導部を中心に検討し、教員で共有しながら取組を進める。

(2) 情報教育に関する指導方法の工夫・改善

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
教育関係機関を結ぶネットワークの活用、情報教育に関する職員研修	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書画カメラ（実物投影機）やタブレットPCの使い方について、校内研修の時間を活用して、研修を深めた。基本的な使用方法を理解し、実際に操作する演習を全員で行った。また、効果的な教材の提示方法を実演し、よりわかりやすい授業構成の工夫に繋がるようにした。 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も書画カメラやタブレットPCの効果的な活用について、情報教育担当教諭を中心に研修を進める。

	<p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークを活用した授業の推進及び複式授業における効果的な活用、プログラミング教育の研修を実施した。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務支援システムの効果的な活用の仕方について、視聴覚係が中心となって取組を推進することができた。 	<p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業における効果的な活用の研修と実践を行う。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内小中学校間のネットワーク構築と効果的な活用の推進を図る。
--	--	---

(3) 情報教育設備の整備・充実

① 令和元年度取組概要	② 令和元年度取組の成果や課題	③ 今後の方向性
<p>教育用コンピューター等の機器及び教育用ソフトウェア並びに情報通信ネットワークの整備</p>	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度にコンピューター、タブレット、ソフトウェア、書画カメラ及び情報ネットワークを更新。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度にコンピューター、タブレット、ソフトウェア、書画カメラ及び情報ネットワークを更新。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度にコンピューター、タブレット、ソフトウェア、書画カメラ及び情報ネットワークを更新。 	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想に基づく1人1台端末と高速大容量の校内ネットワーク環境の整備を行う。

施策項目 4 環境教育の推進

目 標

地方公共団体や学校教育等において自発的に環境保全に取り組み、環境やいのちを大切に
する意識や行動を醸成する。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R元	目標 (R元)
関係団体との学習機会の状況	小中高校と関係団体との連携事業の取組	水質調査など実施	・高校及び開発と水生生物調査を実施(蘭越小) ・自然ガイドを招聘した授業の実施(昆布小) ・小中高と連携を図り、効果的な学習機会の設定を検討(中学校)	・水生生物調査を行った(蘭越小) ・自然ガイドを招聘した授業の実施(昆布小) ・小中校と連携を図り、効果的な学習機会の設定を図った(中学校)	連携事業の拡大をめざす
環境学習等組織状況	「総合的な学習の時間」や教科等における環境学習の取組状況	小4～6年 10時間程度で教科での取組は不十分 中は教科(理科、社会、技家)の中で位置付けている	・教科(理科、社会)と4年生の総合的な学習で取組を行った(蘭越小) ・理科、家庭科、総合的な学習の時間において年間指導計画に基づいて実施(昆布小) ・総合的な学習の時間、理科、社会、保健体育の学習を中心に教科等横断的な取組を推進(中学校)	・教科(理科、社会)と4年生の総合的な学習で取組を行った(蘭越小) ・理科、家庭科、総合的な学習の時間において年間指導計画に基づいて実施(昆布小) ・総合的な学習の時間や理科、社会、保健体育の学習を中心に教科等横断的な取組を推進した(中学校)	学校教育活動全般で取組む

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 環境問題への理解の促進

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
「総合的な学習の時間」における環境学習の実施	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年でごみやリサイクルについて学習を行い、理解を深めた。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間の取組を通じ、環境問題への意識の向上を図った。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間を軸として、各教科と 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も環境学習を進めていく。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も総合的な学習の時間を中心に実施を進めていく(年間計画の改善)。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験的な活動や課題解決学習

	指導内容を関連させて学習に取り組んだ。	の推進を図る。
学校教育活動全般における環境学習の実施	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年社会科において、農地の減少や森林資源の質の低下による自然への影響、オゾン層破壊による地球の温暖化を学習し、地球環境への理解を深めた。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛乳パックのリサイクルやごみの分別など日常生活の実践を通じ、環境への意識の高揚を図った。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校花壇の整備・管理や技術科の野菜の栽培など、体験活動を通して環境について考えることができた。 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は社会科だけではなく、他の教科も活用して環境問題に取り組んでいく。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して取り組む。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境や人材を生かした環境教育の推進を検討する。

(2) 環境に配慮して主体的に行動する意欲や態度の育成

① 令和元年度の実施概要	② 令和元年度の実施成果や課題	③ 今後の方向性
小中高校が連携した環境学習の実施	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蘭越高校と連携して水生生物調査を行った(4年)。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に実施していない。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中高が連携した環境学習の推進を図ったが、他行との連携には至らなかった。 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携をより深めるために、活動や内容を精査して取組を進めていく。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施可能な内容について検討を行う。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同の会議や交流会の議題として検討を行う。
地域の関係団体との交流を図った取組	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道開発局倶知安開発事務所と連携して水生生物について調査を行った(4年)。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAと連携し、教材園や花壇等の有効活用を図った。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組むことができなかった。 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も4年生を対象として行っていく。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を推進する団体と連携を図る。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機会があれば交流を検討する。

施策項目 5 国際理解教育の充実

目 標

諸外国の人々とお互いの文化、習慣、価値観等を理解し合い、自らの考えや意見を適切に伝えることができるよう、異なる文化や生活習慣を持つ人々と協調して生きていく態度を養い、外国語によるコミュニケーション能力をより一層高める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R元	目標 (R元)
外国語活動の実施状況	A L Tが支援した外国語活動の授業時数 (小学校)	授業時数 97%	授業時数 97.5%	授業時数 100.0%	授業時数 100%をめざす
外国語研修の実施状況	A L Tによる小・中学校の教職員を対象とした外国語研修の実施	未実施	未実施	年1回実施	年間3回の実施をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 外国語教育の充実

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
A L Tを活用した外国語活動 (小学校)	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3・4年は年間35時間、5・6年は年間70時間A L Tを活用して授業を行い、学習を深めることができた。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A L Tを活用した外国語活動及び外国語の授業を実施することで、児童の興味関心を高めることができた。 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後もA L Tを積極的に活用していく。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続してA L Tの活用を図っていく。
A L Tを活用した外国語教育 (中学校)	<p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語科で効果的な活用の仕方を十分協議して、「English トライアル」など計画的にA L Tの活用を図ることができた。 	<p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は授業における活用の仕方の工夫などを検討する。

(2) 国際理解・異文化理解協力の推進

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
国際交流・異文化交流の実施 (A L Tの活用含む)	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動ではA L Tを十分活用し、国際理解教育も進めることができた。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A L Tや外国籍の人との交流を通して、異文化に触れ理解を深めた。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A L Tによる掲示物の作成や学校行事等への参加を通して、生徒と交流を深めることができた。 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後はA L Tも活用しながら、国際理解教育を進めていく。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A L Tの継続した活用。 ・地域人材の発掘と連携の推進。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A L Tとの交流機会を増やすなどの取組を推進する。
国際理解・異文化理解の活動	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3～6年の総合的な学習の時間に「北方領土」を位置づけ、その他の国際理解・異文化交流に取り組んだ。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A L Tや外国籍の人との交流を通して、異文化に触れ理解を深めた。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な取組みは行わなかった。 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も同様に取組みを進めていく。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A L Tの継続した活用。 ・地域人材の発掘と連携の推進。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施する機会を検討する。

施策項目 6 特別支援教育の充実

目 標

一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図るとともに、学校関係者や保護者などに対し、特別支援教育に関する理解を深めていく

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R元	目標 (R元)
「個別の教育支援計画」の策定状況	通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒に対する「個別の教育支援計画」の策定状況	小 83% 中 現在、策定中 高 現在、策定中	小 46% 中 100% 高 対象者なし	小 43% 中 0% 高 対象者なし	すべての対象児童・生徒について策定する

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 一貫した支援をめざした特別支援教育の推進

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒について各学校で「個別の教育支援計画」を策定	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通学級に在籍対象児童について、教育的ニーズを必要とする児童の「個別の教育支援計画」を策定し、活用している。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級児童の支援計画を作成。通常学級に在籍し支援が必要な児童の支援計画の作成を検討した。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別のカルテを作成したが、「個別の教育支援計画」を作成するまでの必要はないと判断した。 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も校内支援委員会を中心に「個別の教育支援計画」の策定・活用を進める。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常学級に在籍し特別な支援が必要な児童の「個別の教育支援計画」の作成を図る。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の状況について校内支援委員会で確認し、必要に応じて「個別の教育支援計画」を作成する。

(2) 幼稚園、小・中学校、高等学校などにおける特別支援教育の充実

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
蘭越町特別支援連携協議会の専門的な相談支援の充実（就学支援シートの取組含む）	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> 就学支援シートを作成し、特別支援連携協議会専門家チームを中心に相談支援を実施している。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携を図り、指導に生かした。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援連携協議会の活動内容を踏まえて、ケース会議や相談支援等を適宜実施することができた。 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も町内の関係機関と連携を取りながら、支援を必要とする児童及び保護者に働きかけを行っていく。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も連携を図り効果的な支援を継続していく。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門機関との連携を強化し、特別支援教育の充実を図る。

施策項目 7 道徳教育の充実

目 標

基本的な生活習慣や人間としてしてはならないことなど社会生活を送る上で持つべき最低限の規範意識、自他の生命の尊重、自分への信頼感や自信などの自主感情や他者への思いやりなどの道徳性を養うとともに、それらを基盤として、法やルールの意義やそれらを尊重することなどへの意味を理解し、主体的に判断し、適切に行動できる人間を育てる。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R元	目標 (R元)
規範意識や基本的な倫理観等の状況	全国学力・学習状況調査において「学校の決まりをまもっている」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内児童・生徒の割合	小 95.0% 中 90.9%	小 80.6% 中 100.0%	小 93.7% 中 97.3%	すべての児童・生徒がどちらかを回答することをめざす
自尊感情の状況	全国学力・学習状況調査において「自分にはよいところがあると思う」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内児童・生徒の割合	小 67.5% 中 50.0%	小 77.4% 中 79.5%	小 93.7% 中 72.2%	すべての児童・生徒がどちらかを回答することをめざす
生命の尊重や他者への思いやりの状況	全国学力・学習状況調査において「人の気持ちがわかる人間になりたい」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内児童・生徒の割合 ※H28 上記設問ないため、下記に変更 「人の役に立つ人間になりたい」と回答した町内児童・生徒の割合	小 95.0% 中 86.4%	小 100.0% 中 97.5%	小 96.9% 中 88.9%	すべての児童・生徒がどちらかを回答することをめざす
	全国学力・学習状況調査において「自分にはよいところがあると思う」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内児童・生徒の割合	小 67.5% 中 50.0%	小 77.4% 中 79.5%	小 93.7% 中 72.2%	すべての児童・生徒がどちらかを回答することをめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 家庭や地域と連携を図り、多様な教育資源を活用した子どもの発達段階に応じた道徳教育の充実

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
地域の人材活用や体験活動を取り入れた道徳教育の実践	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材や体験活動を取り入れながら、道徳教育を進めた。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科や総合的な学習での地域住民との交流を通じ、勤労の尊さを学ぶ機会とした。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教室や情報モラル教室など、外部人材を活用して道徳教育の充実を図ることができた。 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も積極的に活用を図る。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も児童の実践力を高めるよう継続した指導を進める。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部人材の発掘に努め、道徳教育の推進を図る。

<p>「道徳の時間」（「特別な教科である道徳（道徳科）」）の充実</p>	<p>【蘭越小】 ・道徳教育推進教師を中心に、校内研修も絡めながら、道徳教育の充実を図った。 ・参観日で各学級年1回は道徳の授業を地域・保護者に公開した。</p> <p>【昆布小】 ・参観日に各学級の道徳の授業を公開し、併せて道徳科の評価等の校内研修を実施した。</p> <p>【中学校】 ・指導方法や指導内容について校内研修で取り上げ、学校全体（全職員）で道徳の授業に取り組む体制をつくることができた。</p>	<p>【蘭越小】 ・今後も道徳教育推進教師を中心に、道徳の時間の授業改善を中心に道徳教育の充実を図る。</p> <p>【昆布小】 ・各担任間での授業交流を推進する。</p> <p>【中学校】 ・先進校の取組などを参考に、充実を図る。</p>
--------------------------------------	---	--

(2) 道徳的価値の自覚を深めさせる指導の充実

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
<p>「総合的な学習の時間」などにおけるボランティア活動、自然体験活動、高齢者や障がい者、外国人との交流の実施</p>	<p>【蘭越小】 ・一灯園の入所者を学芸会児童観覧日に招待し、交流を行った。 ・3年の総合的な学習において、一灯園を訪問し、高齢者との交流を深めることができた。</p> <p>【昆布小】 ・ボランティア活動として地域の清掃活動を実施し、総合的な学習等で高齢者と交流を図った。</p> <p>【中学校】 ・「職場体験」を通して、勤労の意義や社会貢献について考える機会となっている。</p>	<p>【蘭越小】 ・今後も積極的に取り組んでいく。</p> <p>【昆布小】 ・高齢者や障がい者との交流の機会を設ける。</p> <p>【中学校】 ・様々な体験活動を取り入れることで、道徳的な価値の自覚を深めさせることができるよう、カリキュラムを工夫していく。</p>
<p>特別活動や学校行事を通しての豊かな心の育成</p>	<p>【蘭越小】 ・集団活動を通して、個性の尊重や協調して行動する態度を育てることができた。</p> <p>【昆布小】 ・異学年集団による縦割り活動を通じ、豊かな心の育成を図った。</p> <p>【中学校】 ・人権作文や募金活動、全校生徒縦割りによる異学年集団での学校行事の取組などを通して、豊かな心の育成に取り組むことができた。</p>	<p>【蘭越小】 ・今後も特別活動を大事にして活動を進めていく。</p> <p>【昆布小】 ・学校行事・児童会活動に改善を加えながら今後も継続する。</p> <p>【中学校】 ・活動の趣旨の理解を図り、生徒の意識をさらに高める。</p>

施策項目 8 読書活動の推進

目 標

すべての子どもが、人生をより深く生きる力を身に付けられるよう、自主的な読書活動のための環境整備を図る。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R 元	目標 (R元)
幼児・児童・生徒 1 人当たりの年間図書貸出冊数	花一会図書館における、町内幼児・児童・生徒 1 人当たりの図書貸出冊数	幼 16.6 冊 小 22.0 冊 中 16.6 冊	幼 16.2 冊 小 25.2 冊 中 12.3 冊	幼 13.8 冊 小 32.0 冊 中 11.4 冊	24 冊
読書が好きな児童・生徒の割合	全国学力・学習状況調査において「読書は好きですか」という設問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童・生徒の割合	小 77.5% 中 70.5%	調査項目なし	調査項目なし	小 85% 中 80%
家庭での読書の状況	全国学力・学習状況調査において「家や図書館で普段 1 日当たりどれくらいの時間読書しますか」に対して「10 分以上」と回答する町内児童・生徒の割合	小 62.5% 中 68.2%	小 64.6% 中 64.0%	小 68.8% 中 61.1%	小 70% 中 70%

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 花一会の利用促進と子どもが利用しやすい環境づくり

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
家庭・地域・学校等の連携推進	<ul style="list-style-type: none"> 花一会絵本室の環境を整え、保護者が子どもに読ませたい本を自由に選択したり、その場で読んであげたり、幼い子ども連れの保護者が気兼ねなく利用できるよう工夫を講じた。 子育て支援センター、学童保育所、放課後子ども教室、保健福祉センターへの移動図書館、施設内文庫の設置の取組を継続して行った。 	家庭、地域、学校が連携し、広い意味の読書活動を推進する。また、子どもが利用する施設に設置した文庫の充実に努める。

(2) 読書ボランティア、読み聞かせ等を活用した保育所や学校図書館の環境整備

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
保育所・学校の読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 蘭越保育所、幼稚園は月 1 回、昆布保育所は隔月 1 回定期的に来館し、図書館職員にブックトーク や絵本 	幼稚園園児への読み聞かせの機会、読書啓発を進めるため、幼稚園の定期

	<p>の読み聞かせをしてもらった後、園児一人ひとりが自分で絵本を選び、その選んだ絵本を保育所や幼稚園に持ち帰って施設内文庫（ちっちゃいほんだな）とする取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の国語科で、年2回、図書館職員、読書ボランティアによる読み聞かせやブックトークを行い、児童が自分で選んだ本で学級文庫をつくる「みんなの本だな事業」を継続して実施した。 ・中学校も、学年毎に小学校のみんなの本だなと同様にブックトークを行い、生徒自ら選書した本で学級文庫を設置する取組を継続して行った。 	<p>的な来館による文庫活動を進める。 また、読書ボランティアの掘り起こしに努める。</p>
--	--	--

(3) 家庭での読書環境づくりの啓発

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
<p>幼児からの読書活動推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診（すくすく健診）に訪れた乳児と保護者を対象に、「絵本」2冊と「赤ちゃん絵本を楽しむ体験」などが入ったブックスタートパックをプレゼントするブックスタート事業を継続して行った。 ・子どもの読書活動を継続して推進していくため、令和2年度から令和6年度までを計画期間とする蘭越町子どもの読書活動推進計画(第3次)を策定した。 	<p>幼児から継続した読書活動の推進、家庭、保護者への読書活動の啓発に努める。</p>

施策項目 9 生徒指導の充実

目 標

家庭や地域との連携を一層強化し、共感的な理解に基づく児童生徒理解や評価を工夫するなど、自己指導能力を育てる生徒指導の充実に努める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R元	目標 (R元)
いじめの解消の状況	文部科学省調査の「いじめの認知件数」のうち、「解消しているもの」の割合	小 100% 中 100%	小 47.1% 中 44.4%	小 78.3% 中 100.0%	引き続き 100%をめざす
いじめに対する意識	いじめのアンケート結果において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」について「当てはまる」と回答する町内児童・生徒の割合	小 85.0% 中 70.2%	小 84.4% 中 73.6%	小 90.4% 中 88.8%	すべての学校で 100%をめざす
ネットトラブルの未然防止の取組状況	ケータイ等の利用に関する「家庭内でのルール」等の整備状況	未実施	・ルールは未整備 (蘭越小) ・ルール作りを推奨する啓発は行ったが、実施状況は把握していない (昆布小、中学校)	・利用上の指導は行っているが、家庭でのルールは未整備 (蘭越小) ・ルール作りを推奨する啓発を行った (昆布小) ・ルール作りを推奨する啓発は行っているが、実態は把握していない (中学校)	利用 (所持) 家庭のすべてで 100%をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 学校における相談体制の充実や家庭・地域社会との連携を通じた生徒指導の充実

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
スクールガードリーダーの巡回 (小学校)	【蘭越小】 ・月2回、スクールガードリーダーが7時から8時10分の時間帯で巡回している。 【昆布小】 ・定期的に巡回している。	【蘭越小】 ・今後もスクールガードリーダーの巡回をお願いしたい。 【昆布小】 ・事故の未然防止と安全意識を高めるため、今後も継続を望む。
スクールカウンセラー配置 (中学校)	【中学校】 ・年間を通して職員への助言や情報交換を行ったことで、生徒の支援や問題行動の予防・早期発見等に効果的であった。	【中学校】 ・スクールカウンセラーとの連携を強化し、学校課題にあった取組を推進する。

(2) いじめや不登校、暴力行為など児童生徒の問題行動の未然防止・早期対応

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
いじめアンケートの実施等	【蘭越小】 ・いじめアンケートを5月、11月の2回実施し、集計結果をもとに面談等を行い、いじめと思われる事案に迅速に対応することがで	【蘭越小】 ・今後もいじめアンケートを実施するとともに、いじめの未然防止の取組を積極的に進めてい

	<p>きた。</p> <p>【昆布小】 ・年2回実施。未然防止、早期発見及び解決に繋がった。</p> <p>【中学校】 ・アンケート結果にもとづく迅速な対応により、未然防止や早期発見、早期解決に繋げることができた。</p>	<p>く。</p> <p>【昆布小】 ・アンケートの実施と未然防止に努める。</p> <p>【中学校】 ・他の調査や教育相談と併用して、効果的な活用を図る。</p>
<p>教職員全員による教育相談等の取組</p>	<p>【蘭越小】 ・定期的に教職員全体で情報交流会を行い、子ども達の状況を把握している。</p> <p>【昆布小】 ・アンケートの結果をもとに教育相談を実施。教職員間で情報共有に努め、未然防止や早期発見に努めた。</p> <p>【中学校】 ・教育相談の実施を教育課程に位置づけるとともに、適宜相談に応じることで丁寧な対応を行うことができた。</p>	<p>【蘭越小】 ・今後も年5回設定している情報交流会を積極的に開催する。</p> <p>【昆布小】 ・教職員全員で子どもの行動に気を配り、情報を共有し、問題行動の未然防止に努める。</p> <p>【中学校】 ・教育相談の内容を全職員で共有し、学校全体で取り組む体制を強化する。</p>

施策項目 10 体力・運動能力の向上

目 標

学校、家庭、地域での生活を通じて、日頃から運動に親しむ環境づくりを進める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R元	目標 (R元)
児童生徒の体力・運動能力の状況	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の総合得点の町内児童・生徒の値 (小学5年生、中学2年生)	全国平均と比較して、小学生はやや高く、中学生は低い	小5男 ほぼ同じ 小5女 ほぼ同じ 中2男 ほぼ同じ 中2女 ほぼ同じ	小5男 同じ 小5女 同じ 中2男 ほぼ同じ 中2女 同じ	全国平均とほぼ同じをめざす
体育の授業以外での運動・スポーツの実施状況	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」で普段の一週間の中で、体育の授業以外で運動やスポーツに費やす時間数	男子 701分 (全国 607分) 女子 251分 (全国 348分)	男子 769分 (全国 590分) 女子 313分 (全国 354分)	男子 599分 (全国 588分) 女子 378分 (全国 350分)	男子については現状維持、女子については時間増をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 体育・保健体育の授業の充実

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
児童・生徒の体力、運動能力の把握	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力・運動能力を把握するために、全学年の体力テストを行った。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新体力テストを全学年で実施し、結果分析を行い授業改善に活用した。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒が新体力テストを実施して体力・運動能力把握し、保健体育の授業改善等に取組んだ。 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も全校児童の体力・運動能力を把握するために体力テストの計画を立て、取組を進めていく。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続する。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力テストを年2回実施して、丁寧な体力・運動能力の把握に努める。
体育科以外での運動機会の提供	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の活動や休み時間を活用して、なわとび活動やマラソンに取り組んだ。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間や放課後子ども教室及びスポーツ少年団と連携し、運動の機会提供に努めた。全校マラソンやクロカンを実施した。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動部活動の推進と専門委員会による昼休みの体育館開放活動を実施し、運動に親しむ環境作りに努めることができた。 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も体力テストの結果を受けて、体力づくりの取組の改善を進めていく。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校的な取組みや他団体との連携により、運動機会の提供に努める。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康安全・体育的行事を効果的に活用し、運動機会の充実と運動に対する意識を高める。

(2) 運動部活動の充実

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
スポーツ指導員等外部指導者の活用 (中学校)	【中学校】 ・2つの部活動に指導員が入り、専門的な指導が行われたことで、より有意義な部活動経営に繋がった。	【中学校】 ・部活動指導員の配置をほかの部活動にも拡充し、更なる指導の充実と教員の負担軽減に努める。

(3) 家庭・地域における条件整備

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
スポーツ少年団活動の実施 (小学校)	【蘭越小】 ・児童が町内8つのスポーツ少年団に所属し、活動を行った。 【昆布小】 ・陸上、卓球、クロカン等外部講師を招聘し、活動を行った。	【蘭越小】 ・今後も積極的に取り組んでいけるようバックアップを行っていく。 【昆布小】 ・社会教育と連携した活動の継続・推進に努める。
放課後子ども教室との連携	【昆布小】 ・放課後子ども教室と連携し、様々なスポーツを体験する機会を設けた。	【昆布小】 ・今後も継続して連携を行う。

施策項目 1.1 食育の推進

目 標

学校・家庭・地域がお互いに連携しながら、児童生徒に食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けさせ、健全な食生活を実践できる資質・能力の育成に努める。また、安全・安心な学校給食を提供するため、衛生管理の徹底を図るとともに、地場産物食材の積極的な活用を努める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R 元	目標(R 元)
児童生徒の朝食摂取の状況	全国学力・学習状況調査において、「朝食を毎日食べていますか」の設問に対して、「食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した児童・生徒の割合	児童=95.0% 生徒=90.9%	児童 93.6% 生徒 97.5%	児童 96.9% 生徒 88.9%	100%をめざす
学校給食における地場産物の活用状況	学校給食における地場産物の購入状況(購入額における割合%)	7.8%	9.98%	9.63%	15%以上をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 学校教育における食育の推進

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 各学校と連携・協力し、食事の重要性やマナー、望ましい食事の摂り方の授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 昆布小で4回、蘭越小で5回の計9回、中学校では全学年1回の3回、食に関する授業を実施した。 栄養教諭は、給食の献立・栄養管理等の業務を最優先することから、授業は、学級担任や養護教諭と連携し計画的に取り進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の指導計画に基づき、学級担任や養護教諭等と連携を図りながら、年1回以上の食育教育を実施する。

(2) 地域に根ざした食育の推進

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 給食便りに、食材の産地名や蘭越産野菜の表示を実施 行事食の積極的な取り入れ 	<ul style="list-style-type: none"> 給食便りに、献立ごとに説明(産地名等)の記載を継続。 4月入学祝いクレープ、5月柏餅、10月蘭越祝い給食(蘭越アイスクリーム等)、12月クリスマス献立、1月紅白雑煮等の行事食を取り入れ実施。 地場産野菜の使用を可能な限り優先。JAようていトマト生産組合蘭越支部から8月にトマト500個、JAようてい青年部蘭越支部から12月に特別栽培米「ななつぼし 60k 	<ul style="list-style-type: none"> JA、地元納入業者、産直会などと連携調整し、積極的に地場産品を活用する。

	g」の寄贈を受け給食に提供。	
--	----------------	--

(3) 学校給食における衛生管理の徹底

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 保健所による一斉点検の指摘事項等の早期改善 	<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理マニュアルの再点検や洗浄消毒の徹底など、衛生管理に必要な知識を習得できた。 保健所の監視・指導（R1.6）による指摘事項は、全て対策を講じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 調理員を研修会に参加させるなど、衛生管理の意識の高揚に努める。

施策項目 12 開かれた学校づくりの推進

目 標

保護者や地域住民が学校の教育活動に参画することや、学校が日常の教育活動や運営状況に関して情報提供するなど、創意工夫を生かした開かれた学校づくりを推進する。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R 元	目標 (R元)
学校評価を踏まえた学校改善の状況	保護者を対象としたアンケートにおいて、「あなたの学校では、保護者の意見等を参考に学校評価を行い、積極的に学校改善を進めていると思いますか」という設問に対して、「そう思う」「おおむねそう思う」と回答した割合	アンケート未実施	・91% (蘭越小) ・96% (昆布小) ・94% (中学校)	・91% (蘭越小) ・90% (昆布小) ・88% (中学校)	80%以上をめざす
保護者や地域への情報提供の状況	保護者を対象としたアンケートにおいて、「あなたの学校では、学校便り等により日常の学校運営の状況が分かりやすく保護者や地域に提供されていると思いますか」という設問に対して、「そう思う」「おおむねそう思う」と回答した割合	アンケート未実施	・94% (蘭越小) ・100% (昆布小) ・80% (中学校)	・94% (蘭越小) ・90% (昆布小) ・89% (中学校)	80%以上をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 学校評価・情報提供の推進

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
全小中学校で自己点検・自己評価(保護者・児童生徒アンケート含む)及び学校関係者評価の実施	<p>【蘭越小】 ・自己評価、保護者アンケート・児童アンケートに取り組んだ。</p> <p>【昆布小】 ・年2回の学校評価と学校関係者評価を実施した。</p> <p>【中学校】 ・第1回アンケート調査を7月に実施して8月に分析・評価、第2回調査を12月に実施して1月に分析・評価、2月に学校関係者評価を実施して結果をまとめた。</p>	<p>【蘭越小】 ・項目の見直しを図り、適切な評価となるよう取組を進めていく。</p> <p>【昆布小】 ・継続する。</p> <p>【中学校】 ・本年度も昨年度と同様のスケジュールで実施する。アンケート内容の見直しを図る。</p>

(2) 学校運営への参画の推進

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
蘭越小学校、昆布小学校、蘭越中学校に学校評議員(各5名)設置	<p>【蘭越小】 ・学校評議員会を1学期と3学期の2回実施した。</p> <p>【昆布小】 ・年3回の学校評議員会議及び学校関係者評価委員会を実施した。</p> <p>【中学校】 ・年3回(各学期)実施。各評議員から貴重な意見をいただき、学校運営に反映させた。</p>	<p>【蘭越小】 ・今後もより内容が充実した学校評議員会を開催していく。</p> <p>【昆布小】 ・今後も継続し、開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>【中学校】 ・本年度も昨年度と同様の内容とスケジュールで実施する。</p>

目 標

小・中学校や高等学校も含めた連携は、多様な教育活動を進め、豊かな心を育成することにつながるため、学校間の連携を強化していくとともに、子供たちが自立し自分の進路を決めていくまでの学校生活を滑らかなものにする。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R 元	目標 (R 元)
小中高の連携	教職員の合同研修の実施状況	未実施	小中で実施 (蘭教研)	小中で実施 (蘭教研)	年2回実施する
乗り入れ授業、交流授業の実施状況	各学校の教職員の専門性を生かす乗り入れ授業及び交流授業の実施状況	中→小 1回 高→中 1回	・交流授業 中→小 1回 (蘭教研)	・乗り入れ授業 中→小 1回 高→中 1回 (外国語、英語) ・交流事業 中→小 2回 高→中 3回	・乗り入れ授業 中→小 2回 高→中 2回 ・交流授業 中→小 2回 高→中 2回

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 9年間を見通した教育課程の編成・実施

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
発達段階に応じたきめ細かな教育課程の編成	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校6年間の発達段階に応じて、複数教員による指導を含めたきめ細やかな教育課程を実施した。 ・小から中へのスムーズな継続が必要である。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた学習規律の徹底と改善を図った。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の教育課程の見直しと改善は実施したが、小学校の教育課程を十分踏まえて実施することはできなかった。 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中9年間の発達段階に応じたきめ細やかな教育課程の編成を行っていく。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習規律、持ち物、家庭学習指導など学年に応じたきめ細かな指導を進める。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中で教育課程交流会を複数回実施し、各校の教務主任が中心となって9年間を見通した教育課程の編成・実施に努める。

(2) 学習や生活の連続性

① 令和元年度の取組概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
義務教育9年間のキャリア教育の推進（発達段階に応じた学習規律や生活習慣の徹底）	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校6年間の発達段階に応じた学習規律を作成し、継続して指導を行った。 ・小から中へのなめらかな接続が必要である。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた学習規律の徹底と改善及び生活リズムチェックシートにより生活習慣の改善を図った。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校3年間を見通して計画的にキャリア教育に取り組んだ。小学校との関連付けは不十分であった。 	<p>【蘭越小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中9年間の発達段階に応じた学習規律の作成を今後も進めていく。 <p>【昆布小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して学習規律や学習習慣づくりについて指導を進める。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中の教育課程交流会が中心となって小中の連続性を図る。

施策項目 1.4 家庭の教育力の向上

目 標

家庭の中で身に付ける基本的な生活習慣をはじめ、心身の調和のとれた発達に役立つ情報や保護者の意識啓発を図る情報の発信に努める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R 元	目標(R 元)
家庭教育に関する情報の提供	家庭の教育機能の回復に役立つ情報の提供回数	生涯学習情報紙に年5回掲載	町広報紙(生涯学習情報コーナーこぶしにまなぶ)で年5回掲載	町広報紙(生涯学習情報コーナーこぶしにまなぶ)で年5回掲載	家庭教育に役立つ情報の定期的な発信をめざす
家庭教育に関する相談体制の整備	悩みを持つ保護者からの相談に応じるための体制づくり	家庭教育に関する専門の相談窓口を紹介	継続掲載	継続掲載	気軽に相談できる窓口の開設をめざす
学習機会の提供	親子の交流事業や家庭教育に関する学習機会の状況	親子体験交流事業等を開催	青少年推進委員会やPTA連合会との連携	青少年推進委員会やPTA連合会との連携	家庭教育に関する事業の拡充をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 家庭教育に関する情報の提供

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
情報の収集に努め、定期的な発行を目指して、家庭の教育機能の回復に役立つ情報の提供	・専門家の視点で寄稿いただいた家庭教育通信(年5回)を継続して、生涯学習情報コーナー「こぶしにまなぶ」に掲載し、情報提供を行った。	・時代に対応した適切な情報を、切れ目なく提供する。

(2) 家庭教育に関する相談体制の整備

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
子育てに不安や悩みを持つ保護者からの相談に応えるため、関係機関や専門家による相談窓口を紹介	・ポスター掲示、パンフレットを活用し、関係機関や相談窓口の紹介を行った。	・保護者の不安解消を図るため、関係機関と連携を図りながら、情報の発信方法を検討する。

(3) 学習機会の提供

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
家庭教育に関する学習機会を通じて保護者間の情報交換の場を提供	・町青少年健全育成推進委員会や町PTA連合会と連携し「青少年健全育成研究集会」を開催し、家庭・学校・地域が相互学習する場となり、有意義な研修となった。	・家庭・学校・地域が相互学習できる場になるよう、内容の充実に努める。

施策項目 15 子育て支援の充実

目 標

子育て中の親や保護者が悩みを気軽に話し合える体制づくりを進めるとともに、子育て世代のネットワーク化の促進に努める。また、学校・家庭・地域との連携を密にして、子どもたちの安全を確保しながら安心して活動できる場の提供に努める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R 元	目標 (R 元)
子育て支援活動の推進	子育て中の親子が共に育つ環境の整備の状況	親子交流事業の開催	子育て中の親子の交流機会の提供	子育て中の親子の交流機会の提供	子育て中の親子のネットワーク化をめざす
地域ぐるみの安全体制の整備	子どもたちの活動を支える地域の人材の発掘と育成の状況	放課後子ども教室の開催	子ども教室の全体活動で地域の指導者を活用	子ども教室の全体活動で地域の指導者を活用	地域ぐるみで子どもを見守る体制づくりをめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 子育て支援活動の推進

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
子育て中の親子が共に育つ環境整備の一環として、交流活動機会を提供	・就学前親子交流事業として「まめっこクラブ」を年4回開催し、親子との交流を深める良い機会となった。また、小学生親子対象の「親子料理教室」は、町食生活改善推進協議会の指導のもと「ちびっ子チャレンジクラブ」と連動して開催し、参加者相互の親睦と交流を図ることができた。	・地域や関係機関との連携のもと、子ども同士の交流と保護者の仲間づくりを推進する。

(2) 地域ぐるみの安全体制の整備

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
家庭や学校、地域の関係団体等との連携を促進し、放課後の子どもたちが安心して安全に活動できる場の提供や地域の人材を活用した地域ぐるみの取組を支援	・放課後の子ども達の安心安全な居場所づくりを進めるため「昆布小学校放課後子ども教室」を開設。平成29年度から開設日を週5日に拡充し放課後から午後5時まで開設。コーディネーターと安全管理員を委嘱し、子供たちの安心・安全な居場所づくりに努めた。 ◎昆布小学校全校児童(35名) ◎開設日数 174日	・地域や学校の実情を踏まえながら、放課後の子どもたちが安全・安心に過ごし、多様な活動ができるよう子どもの活動拠点づくりに努める。

施策項目 16 多種多様な学習機会の充実

目 標

町民の学習活動への取組を支援するとともに、自主的な活動を促進し、学習の成果が地域における活動や社会参加等で生かされるよう、関係機関や地区自治会組織との連携を図り、併せて生涯学習に関する情報の提供や相談機能の充実に努める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R 元	目標 (R 元)
学習機会の充実	生涯学習に関する講座や各種体験教室等の開催内容	生涯学習推進講座や体験教室を開催	学習内容の充実と学んだ成果が生かされる場の提供	学習内容の充実と学んだ成果が生かされる場の提供	学習内容の充実と学んだ成果が生かされる場の拡充をめざす
学習情報の提供	生涯学習情報紙の発行回数	こぶしにまなぶ 年 12 回	家庭教育に関する啓発事項を掲載	家庭教育に関する啓発事項を掲載	提供する内容の充実をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 学習機会の充実

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学習意識を高める生涯学習推進講座や学んだ成果が生かされる各種体験教室を開催するほか、生涯学習フェスティバルや生涯学習サークル合同交流会を継続して開催	<ul style="list-style-type: none"> 各種体験教室や生涯学習フェスティバルでは、生涯学習サークル等が学んだ成果を生かして活動する場となり、楽しく学ぶことの大切さや活動する喜びを伝えることができた。 生涯学習の概念が定着してきたころから、生涯学習フェスティバルのあり方の見直しを行った。 生涯学習サークル合同交流会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、急きょ開催を中止した。 	令和元年度をもって生涯学習フェスティバルを終了し、生涯学習サークル合同交流会や町民センター講座を活用して、体験と発表の場の拡充を図る。

(2) 学習情報の提供

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
住民の身近な生涯学習活動をはじめ、学校教育活動や関係機関・団体が実施する事業等を、町広報紙の生涯学習情報コーナー「こぶしにまなぶ」に掲載	町広報紙の生涯学習情報コーナー「こぶしにまなぶ」の中で、教育委員会や関係機関・団体が実施した事業や翌月の行事など、身近な生涯学習活動を紹介したほか、家庭教育通信を継続して掲載した。	内容の充実に努め、継続して発行する。

施策項目 1.7 生涯学習推進体制の充実

目 標

時代に即した取組を展開するため、生涯学習推進計画を定期的に点検するとともに、蘭越町生涯学習推進委員会の効果的な役割や円滑な運営を探りつつ、より機能的な推進体制を整備する。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R 元	目標(R 元)
生涯学習推進体制の充実	生涯学習を推進する組織や取組の内容	生涯学習推進委員会専門部会の具体的活動を支援	生涯学習推進委員会活動の充実	生涯学習推進委員会活動の充実	より機能的な推進体制の整備をめざす
学習成果を生かす環境の整備	学んだ成果を生かして地域のまちづくりに参画するボランティアの活動状況	生涯学習出前体験教室等の開催	継続して地域や学校教育活動の要請に応じて支援	継続して地域や学校教育活動の要請に応じて支援	学んだ成果を生かして活動するボランティアの増加をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 生涯学習推進体制の充実

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
生涯学習推進委員会の具体的な活動の促進	・蘭越町生涯学習推進委員会の各専門部会では具体的な活動を協議し、運営専門部会は「生涯学習フェスティバル」を、社会教育専門部会は「家庭教育事業」、文化財専門部会は「郷土資料の整理と文化財跡地説明板の設置」を実施した。	・生涯学習推進委員会による生涯学習推進計画の定期的な点検確認を継続する。

(2) 学習成果を生かす環境の整備

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学んだ成果を生かして地域のまちづくりに貢献できるボランティア活動の促進	・地区文化祭（目名、昆布）での出前体験教室をはじめ、学校の教育活動等へ要請に応じて地域の人材や生涯学習サークル、職員を派遣して対応した。	・多種多様な要請に対応するためのボランティアの発掘と育成に今後も努める。

施策項目 18 生涯各期の社会教育活動の推進

目 標

心の豊かさや、潤いのある地域づくりを目指し、まちの恵まれた自然や地域の教育資源を活用して、ふるさとを愛する心を育む社会教育活動を推進するとともに、学校教育活動への積極的な支援や地域で活動を展開する社会教育関係団体への支援に努める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R 元	目標 (R 元)
学校教育 と連携し た活動の 推進	学校で行われる教育活動への 支援や、連携事業の内容	総合的な学 習の時間等 への支援	小学校教 科学習へ の支援	小学校教 科学習へ の支援	学社連携に よる事業の 拡充をめざ す
地域と連 携した活 動の推進	社会教育関係団体の支援や地 域との連携事業の内容	コミュニテ ィ町民講座	地域と連 携した事 業の充実	地域と連 携した事 業の充実	地域づくり へ住民意識 の高まりを めざす
いきいき とした学 習活動の 推進	趣味の活動や、各種講座や教室 の内容	高齢者学級 の開設や女 性団体等へ の支援	講座や教 室の工夫	講座や教 室の工夫	団体活動の 自主運営と 事業の充実 をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 学校教育と連携した活動の推進

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学校の教育活動への支援を はじめ、学校教育と連携した 事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援地域本部事業の一環で、総合的な学習の時間や各種体験活動、下校時の見守り支援に地域の人材や職員を派遣した。 中学校や高等学校との連携による「ジュニアリーダーコース」への派遣は、中学生3名、高校生1名の参加であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育と社会教育の連携事業の拡充をめざす。

(2) 地域と連携した活動の推進

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
地域活動推進協議会と連携 し学習機会を提供するとと もに地域子ども会の育成・支 援	<ul style="list-style-type: none"> P T A 連合会や地域子ども会へ運営事業費補助金を交付するとともに継続して学習機会や交流活動の促進に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 時代に即した世代間交流を図る学習機会の充実や子ども会の育成に努める。

(3) いきいきとした学習活動の推進

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
高齢者学級をはじめ、女性団 体の活動を支援するととも に、生涯学習サークルの自主 的な運営を支援	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者学級では自治会が中心となって学習や交流活動等を積極的に進めた。また、女性団体では会の活動PRを含めて、年2回、町に住む一般女性の学習と交流の場を提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容を精査し、自主運営と事業充実をめざす。

施策項目 19 芸術文化活動の推進

目 標

文化に親しむ環境づくりを進めるため、芸術鑑賞等の文化に触れる機会を充実するとともに、芸術文化活動に取り組む団体の自主的な運営を支援し、生涯を通じた文化活動の推進に努める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R 元	目標(R 元)
芸術鑑賞 機会の充 実	優れた舞台芸術等の鑑賞機会 の提供	児童劇や音 楽鑑賞機会 の開催	鑑賞機会 の充実 (演劇)	鑑賞機会 の充実 (演劇)	芸術文化に 対する関心 度の高まり をめざす
関係団体 との連携	文化活動の発表機会の内容と 参加意識	文化祭や芸 能文化祭の 開催	各種発表 機会の充 実	各種発表 機会の充 実	発表機会の 増加と充実 をめざす
(仮称) 曲 子光男記 念館の整 備	本町出身の日本画の大家、故曲 子光男の作品群を常設展示・保 管するための(仮称)曲子光男 記念館の整備	未実施	(仮称) 曲子光男 記念館検 討委員会 の開催	(仮称) 曲子光男 記念館検 討委員会 の開催	(仮称)曲子 光男記念館 の建設・整備 をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 芸術鑑賞機会の充実

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
次代を担う子どもの豊かな感性や個性を育むとともに、芸術文化を理解し、大切にすることを育むため、児童生徒を対象とした舞台芸術の鑑賞機会を提供	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術の鑑賞機会は巡回小劇場(蘭越町公演)として、(株)すわらじ劇園の「ひとつぶのお米」を蘭越小学校体育館で開催し、小学生、幼児、一般を含む255人が鑑賞した。 ・児童生徒絵画書道展は町内の小、中学校から書道の部に181点、絵画の部に180点の応募があり、作品はすべて蘭越町文化祭で展示した。 ・優れた日本画を鑑賞する機会として、曲子光男・曲子明良「日本画」親子作品展を開催し、128人の来場者があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生の舞台芸術の鑑賞機会が少ない地域でもあり、継続開催が必要である。 ・絵画書道展は各小、中学校での取組みが定着していることから継続開催が必要である。 ・作品展示を通し、日本画の魅力を伝える活用方法を検討する。

(2) 関係団体との連携

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
芸術文化活動への参加意欲を高めるとともに、団体活動の自主運営を支援し、発表と交流の機会を提供	<ul style="list-style-type: none"> ・蘭越町文化団体協議会を中心とする各団体やグループの発表と交流の場として、蘭越町文化祭や蘭越町芸能文化祭を開催した。道民芸術祭出演や全道シルバー作品展出品への情報提供を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加する意欲を高めるため、発表機会の拡充が必要である。

(3) (仮称)曲子光男記念館の整備

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
曲子光男氏の御子息から寄贈された日本画作品等を保存し活用するための施設の建設等に関して検討	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)曲子光男記念館検討委員会において、今後どのように保管・展示していくかを検討し、答申を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・答申内容に沿って、具体的な整備内容の検討を進める。

施策項目 20 文化財の保存と活用

目 標

まちの歴史を解明する資料等の収集活動を積極的に進めるとともに、次代に伝えるための保存方策の検討に努める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R 元	目標 (R 元)
郷土資料の保護と保存	郷土資料の保存状態及び郷土芸能の保存状況	寄贈や収集による資料の一部はふるさと学習館に展示	収集資料の保存方策等の検討 (継続)	収集資料の保存方策等の検討 (継続)	資料の保管場所の確保をめざす
郷土資料の活用	郷土資料を活用した「ふるさと学習」機会の回数と内容	ふるさと学習館に展示して活用	ふるさと学習館に展示して活用	ふるさと学習館に展示して活用	郷土資料を活用したふるさと学習機会の増加をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 郷土資料の保護と保存

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
郷土の伝統芸能や古民具等の郷土資料の収集や保護・保存	<ul style="list-style-type: none"> ・収集した農業用機具や生活用品等の郷土資料の整理を行った。活用の難しい物品の取扱いについて検討が必要である。 ・文化財専門部会により、年次計画を立て、文化財跡地説明板の設置を行った。(R1 設置箇所：川上小中学校跡、立川小学校跡、立川遺跡跡) 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料等の貴重な文化資源を後世に伝えていけるよう適切な維持管理に努める。 ・記念碑、文化財跡地の標柱等設置を、今後も計画的に整備していく。

(2) 郷土資料の活用

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
郷土資料を活用したふるさと学習機会を提供	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財専門部会員により、ふるさと学習館を活用しやすくするために、追加する展示用郷土資料の整理を手掛けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料を活用し、蘭越町の文化に触れられる学習機会の増加をめざす。

施策項目 2.1 みんなが集う花一会図書館

目 標

町民の自主的な読書活動を支え、読書環境を整えるため、みんなが集う図書館が起点となるように進める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R 元	目標 (R 元)
貸出冊数	全道町村立図書館の平均個人貸出 5.8 冊 (平成 25 年度)	5.0 冊 (1 人当り)	5.82 冊	7.22 冊	全道平均以上をめざす
来館者数	全道町村立図書館の平均 23 千人 (平成 25 年)	28 千人	21.8 千人	19.8 千人	全道平均以上をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 図書館サービスの充実

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
町民が求める読書活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・町の課題解決本、地域資料、話題の本、各文学賞受賞作品などのテーマ展示など魅力ある館内展示や配架レイアウトの工夫に努めた。(展示(月毎)中央、絵本の部屋、テーマ別コーナーの3箇所) ・利用者の要望には、他館からの借用や新規購入で迅速に対応した。 ・各種図書館講座を開催し、図書館サービスの向上に努めた。 ・ハープと朗読の会 ・「アイヌ刺繍入門」講座 	町民の知りたい情報や技術を図書資料を通して支援する、学習・情報拠点としての図書館機能の整備を進める。

(2) ボランティア団体との連携

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
町民が共につくる楽しく集う図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ボランティアによる月例のおはなし広場、図書館まつりの蘭越ブキニスト等が開催された。 ・おはなし広場 10 回 (主催:おはなしの会こぐまちゃん) ・第 5 回蘭越ブキニスト (主催:コパンコピーヌ) ・鈴木のりたけさん講演会「おもしろがると世界が広がる」(主催:本との楽しい出会いを創る会) ・おやこ劇場「パロン・キタモトのマジ 	図書館ボランティア等が主体的に実施する催しや研修会等の参加への支援に努める。

	<p>ックショー」(主催:おはなしの会こぐまちゃん)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「町民によるぶちセミナーふらっとサロン」4回(主催:図書館友の会) ・書架整理、本の修復ボランティア(くるみの会-延 121人) 	
--	---	--

(3) 情報発信の充実

① 令和元年度の実施の概要	② 令和元年度の実施の成果や課題	③ 今後の方向性
<p>情報を発信し、町民の集う図書館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新刊蔵書の紹介や図書館事業について、新たに SNS (Facebook、Twitter、Instagram) での情報発信を開始した。 ・「図書館だより」、「学校巡回ニュース」の発行、町広報紙の「こぶしにまなぶコーナー」の掲載などを継続して行った。 ・図書館だより (2か月に1回) ・学校巡回ニュース (年10回) ・こぶしにまなぶコーナー(年12回) 	<p>図書館事業の展開に合わせ、紙媒体、WEB等多様な手法での情報提供の拡充を図る。</p>

施策項目 2.2 外に飛び出す図書館活動

目 標

本を介して人と出会い、人を介して本と出会う機会を公平に提供するため、来館が難しい町民に対しても積極的に外に飛び出す図書館活動を進める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R 元	目標 (R 元)
貸出冊数	全道町村立図書館の平均団体貸出 9.5 千冊(平成 25 年度)	団体貸出 18.6 千冊 (1 館当り)	19.0 千冊	15.8 千冊	全道平均以上をめざす
サービス対象者数	全道町村立図書館の平均 37 団体(平成 25 年)	16 団体	18 団体	18 団体	全道平均をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 乳幼児と保護者が絆を深める活動

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
乳幼児、幼児と保護者を援助する図書館活動	<ul style="list-style-type: none"> ・町健康推進課と連携し、ブックスタート事業を年 6 回(偶数月)継続実施した。(スタートパック贈呈-24 組) ・家庭での絵本の読み聞かせのきっかけが生まれるよう絵本講座を開催した。(青田正憲さん講演会「絵本の時間、それは声の愛情に包まれた時間」) 	施設等の事情に合わせて、主体的な文庫活動へ協力しながら家庭の読書活動の推進に努める。

(2) 学校図書館小・中学校への援助

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学校教育を支援する図書館活動	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館職員が毎週各学校に出向き、学校図書室の管理、読書活動や調べ学習を手助けする学校図書館巡回派遣事業を継続して実施した。 ・花一会の図書(蔵書)管理システムに各学校図書館を組み入れ、学校図書の図書購入、貸出・返却、蔵書管理を一元的に行う学校図書館図書センター事業を継続して実施し、円滑な学校図書館運営に資した。 	情報活用能力、言語活動、確かな学力へつながる読書活動の支援に努める。

(3) 移動図書館活動の充実

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
一般成人、高齢者を支える図書館活動	<ul style="list-style-type: none"> ・昆布高齢者生活福祉センター・昆布温泉病院へ毎月 2 回、役場庁舎で年 2 回の移動図書館を実施した。 ・地域包括支援センターと連携し、訪問サービス専門員の安否訪問時に在宅高齢者へ貸本を届ける「お手軽文庫」を継続実施した。 	町民があらゆる機会とあらゆる場所において読書活動ができるよう、移動図書館や施設内文庫の設置などの図書館活動を積極的に取り進める。

施策項目 23 生涯にわたるスポーツ活動の推進

目 標

各種スポーツ施設の充実に伴い、健康・体力づくりに対する関心が高まってきており、子どもからお年寄りまで、生涯スポーツ活動に親しむ意識の啓発をするとともに、スポーツ推進委員と総合型地域スポーツクラブの連携を強化し、町民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりを進め、生涯スポーツの充実に努める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R元	目標(R元)
ニュース スポーツの 推進	軽スポーツやレクリエーション等に親しむ環境整備の状況	ニュースポ ーツの推進	スポーツ推 進委員が主 管するニュ ースポーツ 大会を継続 開催した。	スポーツ推 進委員が主 催するニュ ースポーツ 大会を継続 開催した。	新種目のニ ュースポ ーツの紹介・ 普及を目指 す。
総合型地 域スポ ーツクラ ブの育成	地域住民が主体的に運営する総合型地域スポーツクラブの活動や実施メニューの状況	活動種目3 種目(卓球、 ウォーキン グ、ふまね っと運動)	活動種目ご とに創意工 夫しながら 活動の充実 を図り、交 流に努めた。	活動種目ご とに創意工 夫しながら 活動の充実 を図り、交 流に努めた。	現種目の継 続とより一 層の充実と 推進を目指 す。

点検・評価の課題と今後の方向

(1) ニュースポーツの推進

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
ニュースポーツの推進	スポーツ推進委員が主催する大会を開催し町民への普及活動に努めた。 また、スポーツクラブや女性連絡協議会、スポーツ少年団本部事業などのスポーツレク活動等で普及のための指導を行ったり、新種目の紹介や普及活動に努めた。	既存の活動の充実を図り、各団体等が行うスポーツレク活動へ出向き、幅広く町民への普及に努める。

(2) 総合型地域スポーツクラブの育成

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
定期活動の充実と推進	会員の高齢化が進み、脱会する方も増加傾向にあります。 しかしながら気軽に参加できる「ウォーキング活動」などを通して新規会員の勧誘に努めている。	クラブの活動の趣旨について、町民の理解をいただきながら、活動内容を伝え新規会員の勧誘に努め、さらには現在の活動の充実を図る。

施策項目24 児童生徒のスポーツ活動の充実

目 標

スポーツ協会等の協力を得ながらスポーツ少年団活動の充実を図り、指導者の育成や児童生徒を対象とした各種スポーツ大会等の開催・支援に努め、より多くの児童生徒がスポーツとふれあう機会を増やすなど、底辺の拡大を図る。

さらには、スポーツを通じて交流を深める機会を提供するとともに、気軽に楽しく参加できる教室を開催する

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R元	目標 (R元)
スポーツ少年団活動の育成・強化	誰もがスポーツ・レク活動に親しめる環境づくりを進め、より多くの児童生徒が楽しく参加できる活動内容	スポーツ少年団の交流事業等を推進	スポーツ少年団の交流事業の開催に努めた。	スポーツ少年団の交流事業の開催に努めた。	指導者の養成及びスポーツ少年団員の交流事業の充実をめざす。
各種スポーツ教室等の開催	スポーツ教室等の開催状況	各競技団体等による各種のスポーツ教室の開催	各競技団体が主催するスポーツ教室への支援と協力に努めた。	各競技団体が主催するスポーツ教室への支援と協力に努めた。	スポーツ協会と連携し指導者の養成及び各種スポーツ教室の充実をめざす。

点検・評価の課題と今後の方向

(1) スポーツ少年団活動の育成・強化

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
スポーツ少年団の交流事業等の充実と育成	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団の交流事業として「体力測定会」や「スケート交流」を開催した。 ・団員や指導者の減少が進んでいる競技種目が目立ち、少年団の活動や運営に苦慮している現状である。 	スポーツ少年団の組織の確立を図るため、スポーツ協会の競技団体と連携に努める。

(2) 各種スポーツ教室等の開催

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
各競技団体が主催するスポーツ教室の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳、スキー、スノーボードの3競技、7教室が開催された。 ・継続した教室の開催や他の競技団体と連携した新たなスポーツ教室の開催が課題。 	スポーツ協会やスポーツ少年団などが連携して主催するスポーツ教室の継続開催に努める。

施策項目25 スポーツ環境の充実

目 標

より多くの町民が快適にスポーツに親しみ、既存施設の効果的かつ効率的に利用できるよう努めるとともに、老朽化により改修等が必要な施設については、緊急性の高いものから計画的に改修や維持補修を進める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H26)	H30	R元	目標(R元)
施設の有効利用	各種施設の有効利用状況	各種施設の有効利用や効率化を図りため、関係競技団体と調整。	積極的な使用促進に努めた。	積極的な使用促進に努めた。	各種施設の有効利用をめざす。
施設の計画的改修整備	老朽化する各種施設の整備状況	老朽化する各種施設改修等の整備計画を検討	トレーニング機器の整備を実施。	町民プール給湯ボイラー取替修理の実施。	整備計画を作成し、老朽化施設の改修をめざす。

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 施設の有効利用

① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
各種スポーツ施設の有効利用	<ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館の有効利用を図るため、夜間利用団体打合せ会議を年2回開催して、利用調整に努めた。 ・利用のないときには、他の競技団体の利用について努めた。 ・トレーニング機器を利用した教室を6回実施し、普及に努めた。 	施設の有効利用を図り、利用者が快適に使用できるよう努める。

(2) スポーツ施設の計画的な改修整備

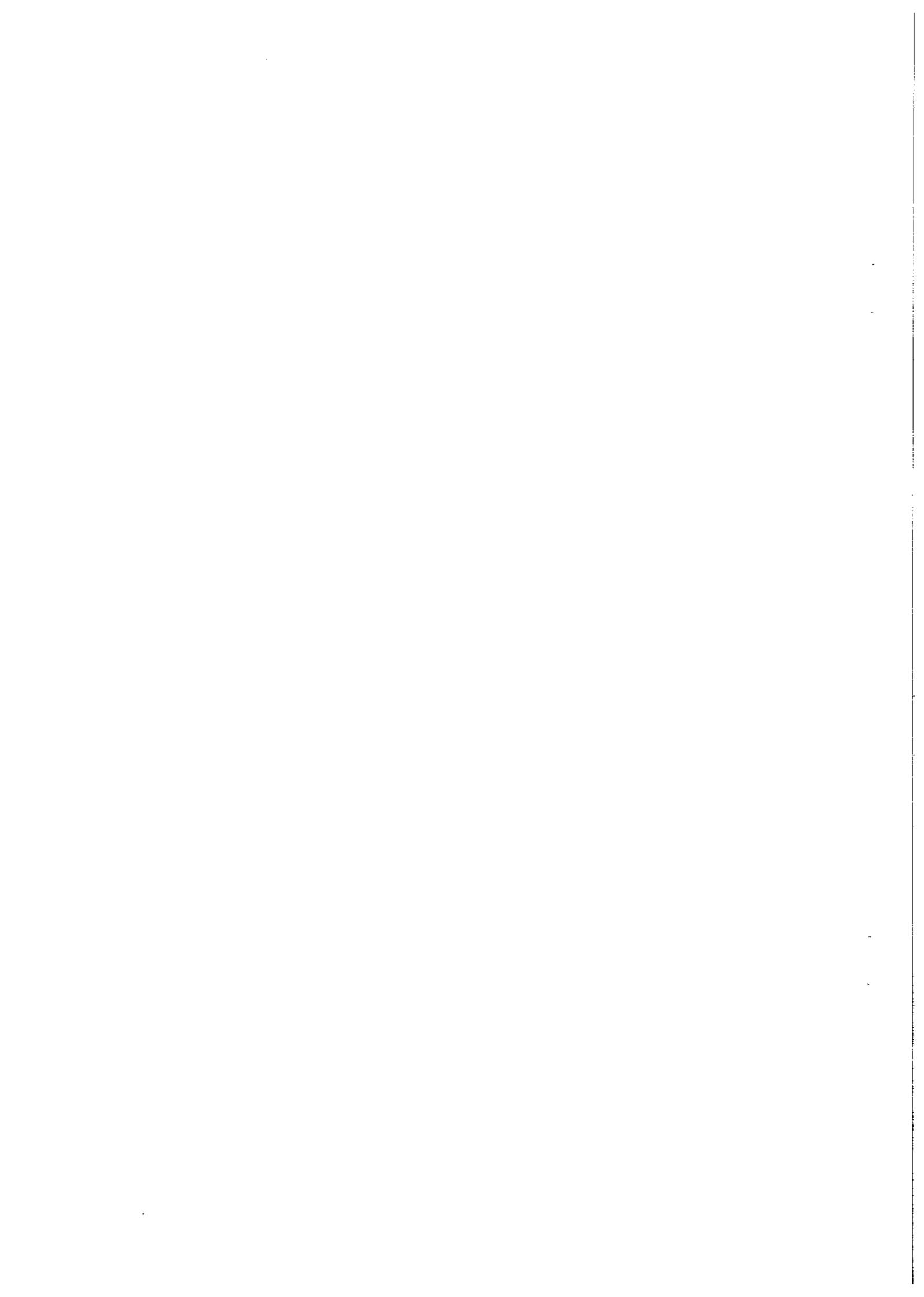
① 令和元年度の取組の概要	② 令和元年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
スポーツ施設の計画的な改修整備	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設を安全に使用していただくため、計画的に維持補修に努めるが、限られた財源のため、緊急性の高いものから改修、修理に努める。 	利用者が安心して、安全に利用できるよう施設整備に努める。



第3章 外部評価

第3章のポイント

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項に、「点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ること」が定められていることから、評価の客観性を高めるため、外部評価委員による点検評価を行いました。



1 外部評価委員による評価・意見

(1) 学識経験者

役 職	氏 名	所 属 等
委員長	住 吉 邦 幸	蘭越町民生委員児童委員協議会長
副委員長	檜 伊佐夫	元蘭越中学校校長
委 員	福 島 雅 史	蘭越町PTA連合会長
委 員	藤 田 博 史	蘭越高等学校長

(2) 聴取日等

日時 令和2年8月31日(月) 午前9時00分～午前11時10分

場所 蘭越町役場2階会議室

(3) 主な意見

① 教育委員会の活動状況について

教育委員会会議は12回開催され、条例、規則や要綱等の制定や改正、教育予算等の審議など教育を取り巻く環境の変化に迅速、かつ適切に対応されている。

また、北海道市町村教育委員研修会や後志管内町村教育委員会研修会に参加し、先進市町の教育活動の視察等を行い、教育委員としての研修に努めるとともに、各種の学校行事や年2回の学校訪問をはじめ成人式その他の社会教育行事にも積極的に出席し、関係者との交流や意見交換により、現状や課題等についての把握やその解決、改善に活発な活動をしていることが認められる。

引き続き教育行政の推進に努められたい。

② 教育推進計画に基づく点検・評価について

平成28年度から令和元年度を計画期間とする「蘭越町教育推進計画(改定版)」に基づき、学校教育に係る分野13施策項目、社会教育に係る分野12施策項目について、具体的な取組が行われており、その成果や課題等、適切な自己評価が実施されている。

【学校教育】

「確かな学力の向上」では、全国学力学習調査による本町の小学校、中学校の学力(国語・算数)は徐々に向上し、この傾向が昨年も続いており、全国レベルまで上がっていることが認められる。児童生徒はもちろん、教職員の努力がこのような結果に繋がっているものと察するが、この傾向が継続され、さらに伸ばしていけるよう学習意欲を高める取組に努められたい。

「情報教育の充実」では、新たな学習指導要領によるプログラミング教育が導入される中、本町においては一昨年度から先行的に取組みが進められているが、時代の趨勢ともいえる子どもたちへのプログラミング的な思考の育成に向け、授業における効果的な活用のための研修とその実践に努められたい。

また、児童生徒の携帯電話の所有が進んでいる中で、全国的にネットトラブルが頻発していることから、発達段階に応じた適切な指導を各学校において推進されたい。

「体力・運動能力の向上」では、学校における体力測定の結果を授業の改善に活かすとされているが、その効果の検証が必要と思われる。また、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果などと併せて周知し、町内の児童生徒が劣っている分野の改善に努められたい。

中学校の部活においては、教職員の長時間勤務や仕事量の多さを改善する働き方の改革を推進すると同時に、生徒が部活を選択できるよう現在の部活数確保のため、部活動の指導や引率等に権限を有する部活動指導員を昨年度から配置しているが、専門的な指導が行われ、有意義な部活動経営に繋がっていると思われるので、未設置の部において指導員を増員し、全ての設置を目指し効果的な運用に努められたい。

【社会教育】

「芸術文化活動の推進」では、曲子光男記念館検討委員会において、今後どのように保管・展示していくかを検討し答申を得ており、昨年度は、御子息を町に招き、親子展示会と講演会を開催するなど、地道な事業の推進が認められるが、絵の寄贈を受けてから年数が経過しており、答申の内容に沿った整備内容の検討を着実に進められたい。

「文化財の保存と活用」で、町内の郷土芸能団体においては、後継者不足などから、活動が休止に追い込まれるなど、このまま廃れてしまうことも危惧される深刻な状況である。そのような危機的な現状のなかで、讃岐瑞穂神楽が20数年ぶりに復活したことは、一筋の光明と言える。この流れが、他の団体にも及ぶよう、町としても積極的な支援が望まれる。

「スポーツ環境の充実」では、一昨年整備されたトレーニング機器について、順調に利用者が増えており、特に足腰の鍛錬のための高齢者や若者の利用が顕著であり、有効に使われている状況が伺われる。現在、新型コロナウイルス感染症防止のため、利用を中止しているが、対策を講じ、利用が再開されるよう検討を進められたい。

(4) 総合評価

教育委員の活動状況の点検及び教育推進計画に基づく25項目の施策についての評価を行った。

教育委員会議は定期に開催され、教育の諸課題に迅速、かつ適切に対応されていると感じられた。また、各施策項目については、進捗状況及び成果や課題が具体的に整理され、課題に対する今後の取組みも示されており適切な執行管理がなされているとの感想をもった。

来年度から導入を予定しているコミュニティスクールの準備が進められているとの報告を受けたが、学校と保護者や地域の方が知恵を出し合い学校運営に意見を反映することは、「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みであり、コロナ対策や関連事業に忙殺される中での導入準備に敬意を表したい。

今後も、教育現場をはじめ地域の意見を積極的に取り入れ、総合教育会議で町長部局と課題や情報の共有を図り、より一層具体的で効果的な教育活動の取組がなされるよう期待する。

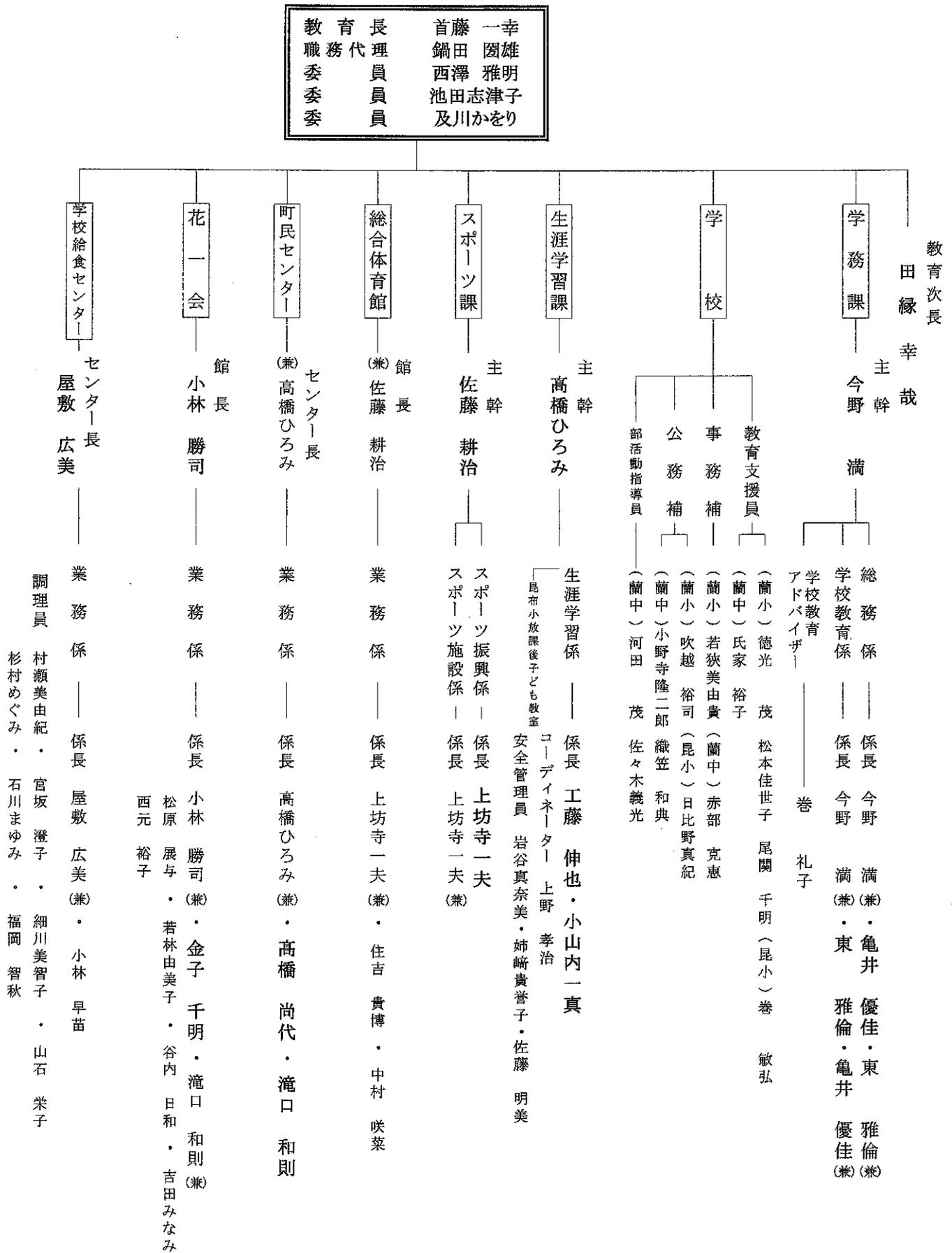
資

料



1 教育委員会行政組織機構図

平成31年4月1日



2 学校の児童生徒・教職員数

児童生徒数

令和元年5月1日現在

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
昆布小学校	6	8	6	5	4	6	35
蘭越小学校	24	17	28	28	21	26	144
小学校計	30	25	34	33	25	32	179
蘭越中学校	30	35	41				106
計							285

教職員数

(道費負担職員)

学校名	教員	養護教諭	事務職員	栄養教諭	合計
昆布小学校	7	1	1		9
蘭越小学校	15	1	1	1	18
蘭越中学校	14	1	1		16
計	36	3	3	1	43

(町費負担職員)

学校名	支援員	事務補	公務補	合計
昆布小学校	1		1	2
蘭越小学校	3	1	1	5
蘭越中学校	1	1	2	4
計	5	2	4	11

3 施設利用者数

(1) 町民センター利用者

生涯学習 サークル		各種教室・会議 等		商工会・コミュ ニティ団体		行政関係・その 他		合 計	
件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
1,030	6,033	138	3,704	34	1,493	338	8,368	1,540	19,598

(2) 町民プール利用者

幼 児	小学生	中学生	高校・一般	団 体	町外者	計
225	788	71	576	2,231	67	3,958

(3) 体育施設利用者

総合体育館		運 動 公 園				山 村 広 場		
一 般	団 体	野球場	こぶし パーク	ゲート ボール	XCスキー 他公園施設	多目的 広 場	サーモン パーク	テニス コート
10,752	11,479	4,870	457	461	500	5,740	29	922
22,231		6,288				6,691		

(4) 目名サッカー場利用者

	幼児	少年団	中学校	その他	観客	計
利用日数	2	19	8	3		32
利用者数	63	941	185	393	1,106	2,688

(5) トレーニング室利用者

	男子	女子	計
町内利用者	1,711	1,468	3,179
町外利用者	234	57	291

(6) 花一会図書館利用者

来館者数	貸出冊数	登録者(累計)
19,814	48,709	4,068



4 学校評価の概要

令和元年度昆布小学校評価報告書 保護者回収率 7月 87% 12月 90%

自己評価項目		R1.7	R1.12	保護者アンケート	
番号	内容			番号	
「確かな学力」の育成	1 一人一人のよさを生かし、基礎学力を高める指導と評価の工夫を行っている。(一人一人に寄り添った丁寧な指導、定着のための指導、朝学習や補習の取組 等)	2.8	2.8	1	学校では、授業内容の充実や指導やグループ学習など基礎学力を高めましたが、ご家庭からみていかがでしたか。
	2 「見通し」と「振り返り」を定着させ、ゴールを明確にした授業づくりの推進を図っている。(課題の設定、学習過程の定着、自己肯定感につながる振り返り 等)	2.7	3.0		
	3 主体的で対話的な深い学びの視点による授業改善を図っている。(学習意欲・学ぶ力の育成、話し合いの仕方やノートの指導、個から集団への思考の流れ 等)	2.3	2.7		
	4 新しい学習評価の理解と評価の改善を図っている。(評価基準の作成と評価基準の明確化、単元テストの活用による指導と評価の一体的な取組 等)	2.5	2.3		
	5 校内研修課題の明確化と共通理解の深化を図り、日常の実践に生きる授業研修等の計画的な研修活動を推進している。(積極的な校内研究への参画、授業を通しての提案、理論研修のための資料提供 等)	2.3	1.8		
	6 地域人材の積極的な活用や関係機関との連携を明確にした総合的な学習の指導計画作成、指導の改善充実を図っている。(総合的な学習の時間の内容の充実と指導計画の見直し等)	2.2	2.5	2	学校では、探求的に地域を学んだ、総合的な学習の指導の充実を図りましたが、ご家庭からみていかがでしたか。
	7 外国語になれ親しみ、コミュニケーション能力の育成する指導・活動の展開を図っている。(低学年外国語活動の実施、外国語活動及び外国語科の目標に即した指導 等)	2.8	2.7	3	学校では、低中学年の外国語活動など、外国語になれ親しみ、コミュニケーションを進めてきましたが、ご家庭からみていかがでしたか。
	8 プログラミング教育を取り入れた教科指導の実施及び校内研修の推進を図っている。(PC活用力向上のための指導、プログラミング的思考の形成を意図した教科指導の実施 等)	1.8	2		
	9 支援を必要とする児童への学習指導を充実させ、学習支援員の適切な配置により、学力保障を図っている。(個に応じた指導の実施、習熟度別学習の取組 等)	3	2.7		
	10 家庭学習の習慣化と学習機会や時間の確保(長期休業中、朝・放課後等)を図っている。(家庭学習への全校的な取組、長期休業中の学習指導の充実、朝・放課後の補習 等)	2.3	3	10	学校では「家庭学習の手引き」を作成するための取組を進めてきましたが、ご家庭からみていかがでしたか。
	11 人の話をしっかり聞き、自分の考えを説明するための指導の充実を図っている。		2.3		
「豊かな心と健やかな体」の育成	12 人間的なふれ合いを深め、自立と自律を促す基本的な生活習慣の指導を図っている。(一人一人に寄り添った対応、心を開く指導、家庭との連携 他)		3.0	11	学校では、早寝早起きなど基本的生活習慣の取組を進めてきましたが、ご家庭からみていかがでしたか。
	13 いじめや問題行動の未然防止、早期発見、早期対応の徹底を図っている。(いじめ防止マニュアルの理解とそれに基づく子どもの見取り、意識的な情報収集 早期対応 等)	3.2	3.0	4	学校では、学級活動や縦割りの活動など、いじめ防止に取り組む取組を進めてきましたが、ご家庭からみていかがでしたか。
	14 道徳教育の充実及び道徳的価値に向き合い多面的・多角的に問いを返させる指導・評価の工夫を図っている。(教科書や多様な資料等の活用、考えを深める道徳の授業、日常的な価値指導 等)	3.2	2.8	5	学校では、授業公開など道徳教育の取組を進めてきましたが、ご家庭からみていかがでしたか。
	15 子どもの発想を生かし、主体的な活動を重視した児童会活動・集会活動の工夫を図っている。(活動の進め方、話し合いの仕方の指導、企画・立案への支援 等)	2.5	2.2		
	16 一人一人の目標設定のもと、成長や変容が実感できる学校行事の充実・改善を図っている。(参加意欲の高揚、共感し合う・認め合う・つながり合うことを大切にした指導 等)	2.8	2.6	6	学校では、運動会など子ども主体の学校行事の充実・改善を図りましたが、ご家庭からみていかがでしたか。

	17	一人一人の健康の保持・増進を図る健康教育の推進を図っている。(身体測定、食に関する教育、性教育、薬物乱用防止教育等の実施 等)	2.7	2.8	7	学校では、体育科教員の活用 び健康の保持・増進・体力づく したが、進んで運動するように
	18	子どもの危機意識を向上させる防災・安全教育の充実を図っている。(交通安全指導、防災教育、学校安全教育の実施と充実のための計画の見直し 等)	2.7	2.6		
	19	新体力テスト等の結果活用及び健康の保持増進・体力づくりの意識化を図っている。(体育専科教員の活用による体育授業の充実、体力テストの結果に基づく体育指導の充実、遊びの奨励 等)	2.8	2.6		
信頼される学校	20	教育目標、経営・指導の重点の共通理解とわかりやすい適切な情報発信・学校公開等による教育活動の可視化を図っている。 (経営方針の具体化と学級経営や教科指導への意識的な取組	2.9	2.5	8	学校では、わかりやすく・見や 育活動の可視化を図る取組を かがでしたか。
	21	A (目標) P (計画) D (実践) C (評価) A (改善) のサイクルを重視した教育活動の充実・改善を図っている。(カリキュラムマネジメントによる学校全体の教育活動の改善)・充実の取組 等)	2.7	2.5		
	22	「報・連・相・確」の徹底による協働体制を構築し、業務内容の見直しを進め時間外勤務の削減を図っている。(関心力と関与生を高めた協働意識の高まり、信頼感、効率化による時間外削減 等)	2.6	1.8		
	23	保育所・町内各小学校・中学校との交流活動・連携の充実を図っている。(小中一貫した学習習慣確立の指導、きめ細かな情報交流、課題と取組の共有化 等)	2.7	2.3		
	24	参観日や家庭訪問等、素早い連絡や親身な対応、丁寧な説明による保護者との相互理解に努めている。(スピード感と温かみのある対応、やわらかな学校発出の文書 等)	3.4	3.3	9	学校では、参観日や家庭訪問 明を図る取組を進めてきました
	25	保護者や地域から信頼が得られるよう、服務規律の保持に努めている。(交通ルールをはじめとした法令遵守、体罰・セクハラ等の根絶、信頼される勤務態度及び服装 等)	3.3	3.3		

令和元年度 蘭越町立蘭越小学校 学校評価

<p>学校教育目標</p>	<p>◇ つくり出す子 (かしこく) ◇ 助け合う子 (やさしく) ◇ たくましい子 (たくましく)</p>	<p>経営の重点</p>	<p>①学習内容の基礎・基本の完全定着を目指す取組 ②自尊感情・自己有用感を醸成する教育活動の充実 ③ふるさとの自然・社会・人とのつながりを重視した教育活動</p>	<p>評価方法 ○保護者アンケート(設問数12)と、教職員アンケート(設問数12)をリンクさせて実施。 ※8月に第1回目の評価を行い、その集計結果を基に改善を図り、12月に再度改善を図るための最終的な評価を行う。 ○保護者アンケートと教職員アンケートの集計結果・考察をもとにした、学校関係者評価を行う。</p>	<p>評価基準</p>
---------------	--	--------------	--	---	-------------

評価計画		
重点目標	具体的な実践項目	評価項目
<p>学習内容の基礎・基本の完全定着を目指す取組</p>	<p>1 <学習状況> ○「学びの約束」(学習規律)を作成し、月別重点項目を設け、系統性のある指導を行う。 ○学習の手引きの活用、積極的な予習の奨励等児童が進んで学習に臨む工夫を行う。 ○すべての教科において、表現活動を重視した授業の工夫を行う。</p>	<p>蘭越小学校の学習規律を設定し、月別重点項目の取組を進めてきことで、児童の学習に向かう準備や姿勢、授業中の約束事などがしっかりと身についている。</p>
	<p>2 <学び方> ○しりべし授業づくりの6つの視点を取り入れ、「見通し(課題)」「自力解決」「小集団・全体での交流」「まとめ・定着を図る場面」「学習の振り返り」のバランスがとれた授業づくりを算数科以外でも行っていく。 ○児童が主体的に楽しく学習活動に参加できる授業の工夫。 ○すべての教科において「書く活動」を重視した取組や授業の工夫を行う。</p>	<p>全ての教科において授業の中に学習の見通しを持たせる「課題」その時間に学習したことの確かめ「まとめ」、そして「振り返り」の場面及び「書く活動」を設けていくことで児童に「学び方」の礎が定着してきている。</p>
	<p>3 <家庭生活> ○家庭学習の手引きを全体懇談で説明、各学級で配布、家庭学習の習慣化を図る。 ○学力学習状況調査のデータや道教委のデータと本校のデータの提示等で家庭への啓蒙を図る。</p>	<p>家庭学習の手引き(あり方)によって家庭学習(目標数値:学年:10分、100%の実施)が定着してきている。</p>
	<p>4 <定着> ○TT指導と習熟度別指導を効果的に取り入れた授業、時数配当。 ○単元末に「単元テスト」「到達確認問題」を行い、未定着児童を把握し放課後等で補習を行う。 ○学校体制としての補充学習の実施(長期休業中) ○学習困難児への個別指導の実施</p>	<p>担任外教諭や学習支援員によるTT指導や習熟度別指導及び宿題家庭学習など日常的な補充学習は、学習内容の基礎・基本の定着につながっている。</p>
<p>自己有用感を高める教育活動</p>	<p>5 ○一人一人の居場所がある学級経営(自己肯定感・自己有用感をもたせる学級づくり)</p>	<p>今年度の蘭越小学校では、児童一人一人が学級への所属感(自己有用感・自己肯定感)や連帯感を持ち、活動が楽しいと感じる学級づくりがなされている。(児童によるいじめ実態調査の取組)</p>
	<p>6</p>	<p>子どもたちは他の子どものかかわりの中で、人のよさに気づいたり自分の関わりのよさに気づくことができている。</p>
<p>地域との関わりを重視した教育活動</p>	<p>7 ○総合的な学習の時間～地域と連携した学習 ・子どもたちの問題意識・探求心・課題発見力を高める 4年生＝尻別川博士に・・・開発局との協力、蘭越高校との連携 5年生「プロジェクト米」地域の米農家に協力依頼、</p>	<p>今年度の蘭越小学校では、保護者や地域と連携し、体験的な学習や共感的な学習を行うように努めている。(校外学習や、外部講師を招いての授業など)</p>
	<p>8 ○花一会との連携(ブックトーク・出前授業・講演会)</p>	<p>今年度の蘭越小学校では、道徳科を中心として、生命を尊重する心や他を思いやる心が育っている。(道徳の授業の充実)</p>
	<p>9 ○昆布小学校・蘭越中学校との連携 ・9年間で蘭越の子どもを育てる観点での連携強化 ・昆布小学校との合同学習</p>	<p>今年度の蘭越小学校では、基本的な生活習慣、集団生活でのルールやマナーの指導がされ、定着してきている。(道徳や学級活動の間、日常の学級経営・生徒指導)</p>
<p>(学校教育全般)その他</p>	<p>10 ○「蘭越小学校 いじめ防止基本方針」を作成し、教職員・保護者に提示し、いじめを許さない空気を醸成する。</p>	<p>今年度の蘭越小学校は活気があり、明るく生き生きとした雰囲気がある。(挨拶を通して自他を大切にすより良い人間関係の構築)</p>
	<p>11 ○年2回の「いじめ調査アンケート」と教育相談の実施</p>	<p>今年度の蘭越小学校では、教職員が児童に対して温かく共感的な態度で接する事ができている。</p>
	<p>12 ○全校児童を対象に新体力テストの実施と、結果の経年変化分析。</p>	<p>今年度の蘭越小学校では、全校で体力テストを行い、その結果に基づいて体力作りの取組を改善し、継続的に取り組んでいる。(体力テスト・なわとび活動・体育の授業での体力づくり運動)</p>
	<p>13 14 ○年2回の「保護者アンケート」と、参観日後の全体懇談の実施。</p>	<p></p>

重点目標	具体的な実践項目	今年度の課題と
学習内容の基礎・基本の完全定着を目指す取組	<p><学習状況> ○「学びの約束」(学習規律)を作成し、月別重点項目を設け、系統性のある指導を行う。 ○学習の手引きの活用、積極的な予習の奨励等児童が進んで学習に臨む工夫を行う。 ○すべての教科において、表現活動を重視した授業の工夫を行う。</p>	<p>◎学習規律について ・全般的に定着させていくことはもちろんであるが、学習規律の頂上を目指し、また、月別重点項目についても、項目や取組方法を見直していく。</p> <p>◎個に応じた指導について ・次年度の学校体制の中で、子どもたちの実態に応じて、新たな指導の工夫を行う。</p> <p>◎家庭学習の定着に向けて ・次年度も普段の放課後学習や家庭学習(宿題)も含めて担任だけでなく、保護者や教員が連携して取り組むことについて、学校として毎日の家庭学習を出していく取組についての計画を立案する。</p>
	<p><学び方> ○しりべし授業づくりの6つの視点を取り入れ、「見通し(課題)」「自力解決」「小集団・全体での交流」「まとめ・定着を図る場面」「学習の振り返り」のバランスがとれた授業づくりを全ての教科で行っていく。 ○児童が主体的に楽しく学習活動に参加できる授業の工夫。 ○すべての教科において「書く活動」を重視した取組や授業の工夫を行う。</p>	
	<p><家庭生活> ○家庭学習の手引きを全体懇談で説明、各学級で配布、家庭学習の習慣化を図る。 ○学力学習状況調査のデータや道教委のデータと本校のデータの提示等で家庭への啓蒙を図る。</p>	
	<p><定着> ○TT指導と習熟度別指導を効果的に取り入れた授業、時数配当。 ○単元末に「単元テスト」「到達確認問題」を行い、未定着児童を把握し放課後等で補習を行う。 ○学校体制としての補充学習の実施(長期休業中) ○学習困難児への個別指導の実施</p>	
自己有用感を高める教育活動	<p>5 ○一人一人の居場所がある学級経営(自己肯定感・自己有用感をもたせる学級づくり)</p>	<p>◎道徳教育について ・保護者や教員同士で道徳科の授業を公開しながら、「考え議論中心」として、他教科や学校行事等の中でも、命の大切さや他を思いやる心を育てる。</p>
	<p>6</p>	
地域との関わりを重視した教育活動	<p>7 ○総合的な学習の時間～地域と連携した学習 ・子どもたちの問題意識・探求心・課題発見力を高める 4年生＝尻別川博士に・・・開発局との協力、蘭越高校との連携 5年生「プロジェクト米」地域の米農家に協力依頼、</p>	<p>◎体験学習について ・蘭越小学校の体験学習の計画を年度当初に保護者に伝え、保護者の協力をお願いする。</p> <p>◎地域の人材活用 ・今後も生活科、社会科、理科、総合的な学習の時間の計画に連携して行っていく。</p>
	<p>8 ○花一会との連携(ブックトーク・出前授業・講演会) ○昆布小学校・蘭越中学校との連携 ・9年間で蘭越の子どもを育てる観点での連携強化 ・昆布小学校との合同学習</p>	
	<p>9</p>	
(学校教育全般)	<p>10 ○「蘭越小学校 いじめ防止基本方針」を作成し、教職員・保護者に提示し、いじめを許さない空気を醸成する。</p>	<p>◎挨拶について ・どういった挨拶がいい挨拶なのかを具体的に児童に指導し、実践の場面で活用する。 ・「挨拶」の大切さを伝えるために挨拶は大切であることを伝えて協力を求める。</p>
	<p>11 ○年2回の「いじめ調査アンケート」と教育相談の実施</p>	
	<p>12 ○全校児童を対象に新体力テストの実施と、結果の経年変化分析。</p>	<p>◎体力向上について ・それぞれの学年の課題やそれを克服するための取組、学校全体で取り組む。また、学校だけでなく徒歩で登下校など家庭でもできる取組を推進する。新たに配置される「体育専科教員」を効果的に活用していく。</p>
	<p>13 ○年2回の「保護者アンケート」と、参観日後の全体懇談の実施。</p>	<p>◎情報発信について ・これまで以上に、学校や学級での子どもたちの様子をわかりやすく発信していく。</p>

1 学校教育目標

- ・力のある ねらいをもって 学び続ける生徒
- ・強い意志をもつ 深く考えて 実行する生徒
- ・ゆたかな心をもつ 明るくて 思いやりのある生徒
- ・心身ともに健康な 粘り強くて たくましい生徒

2 重点目標

- ◎ つながり合い 高め合い 主体的に取り組む 思いやりのある生徒

3 学校経営の基本方針及び取組の重点

<p>(1) 教育課程推進の基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 確かな学力の育成を目指す学習指導の充実 ② 豊かな人間性の育成を目指す道徳の授業改善とキャリア教育・英語教育の充実 ③ 健やかな体の育成を目指す健康安全指導と体育的な取組の充実 ④ 地域や小・高との連携と協力の推進 	<p>(2) 指導の基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学校としての組織的な対応の徹底 ② 保護者との連携の推進 ③ 基本的な学習・生活習慣づくりの徹底 ④ 各学年部会による複数指導の徹底 ⑤ 緊密な連絡・相談・確認による職員室の連携
---	--

4 評価方法

(1) 自己評価

- ・学校評価委員会は、生徒・保護者・教職員アンケートを実施し集計して、結果を分析する。

(2) 評価基準(アンケートの集計結果から)

- A (良い)は集計平均> 3. 2 B (概ね良い)は 3. 2 ≥ 集計平均 ≥ 2. 5 C (不十分)は 2. 5 > 集計平均

(3) 学校関係者評価

- ・自己評価の前期と後期を合わせた数値の平均を評価の基本とし、その妥当性を検討し、意見を集約する。

	指標 (評価基準)	アンケート項目	自己評価	関係者評価	自己分析と改善策	学校関係者評価からの意見・要
1 確かな学力の育成	(1) 個に応じた学習指導の充実が図られたか	①授業内容の理解 ②家庭学習の定着 ③読書の習慣化 ④考えをまとめて、わかりやすく伝える力	前期 2. 8 B	B	(1)個に応じた指導が高く評価 ◇少人数指導、TT指導、学習会等の内容改善を図りながら継続 ◇特別な支援を必要とする生徒への授業での配慮や補習の充実 (2)家庭学習の習慣、思考力等の定着への評価が低い。 ◆校内研修において「主体的・対話的で深い学び」の解明に向けた授業改善 ◆学校としての組織的な家庭学習の取組を試みる。	・いろいろと工夫して取組んで様子が伝わっている。 ・家庭学習の充実に一層の取組を続けてほしい。
	(2) 基礎的・基本的な学力が身に付いたか	⑤個に応じた指導(支援員・少人数指導・TT指導・各種学習会・個別指導等)	後期 3. 0 B			
取組の重点～学習指導の充実を図る						

	指標 (評価基準)	アンケート項目	自己評価	関係者評価	自己分析と改善策	学校関係者評価からの意見・要
2 豊かな人間性の育成	(1) 道徳が計画的に実践され、評価や授業改善が進められているか	①気持ちの良い挨拶や言葉遣いが身についている ②善悪の判断と思いやりが身についている ③いじめの防止、早期発見解決に学校は取り組んでいる	前期 3. 0 B	A	(1)「挨拶・言葉遣い」「善悪の判断・思いやり」の評価は高い ◇今後も道徳の授業を柱に教育活動全体を通して豊かな人間性の育成を図る。 (2)いじめの対応について評価が高い ◇今後も組織的な生徒指導体制を継続する。 (3)進路に対する考えが十分でない ◆3年間を見通した進路指導の系統化 (4)英語への関心意欲が十分でない ◆小・高との連携を推進し「乗り入れ授業」を定着させ、教育課程に位置付ける。	・英語の乗り入れなど、英語教育推進について先生徒は一定の評価しているのに対して保護者の評価が低い、保護者が認識していないと推測され、授業の様子を認知的に認めるなど、認知向上が重要な必要である。
	(2) 人との関わりや自分の将来について真剣に考えているか	④進路や職業について考えている ⑤英語に関心をもち意欲的に取り組んでいる	後期 3. 3 A			
取組の重点～道徳の授業改善とキャリア教育・英語教育の充実						

